

資料編

アンケート調査の概要

1 目的

本調査では、区民の皆さんが環境について日ごろ感じていることや、日常生活の中での環境保全行動の取組み状況、区の環境施策に対するご意見などをうかがい、これまでの環境施策の効果をはかり、今後の取組みに役立てていくことを目的としています。

また、毎年アンケート調査を実施することで、区民の皆さんの意識変化を捉え、環境基本計画の改定や事業展開などの基礎・参考資料としていきます。

2 調査項目

- (1) 住まい周辺の身近な環境について（問1～問6）
- (2) 環境にやさしい行動の取組み状況について（問7～問10）
- (3) 目黒区が行っている環境保全活動について（問11～問16）

3 対象者

目黒区内に居住する日本国籍を有する満18歳以上の区民2,000人を住民基本台帳から無作為抽出（年齢層別による無作為抽出）しました。

4 調査方法

無記名回答式、郵送調査法（アンケート調査票を郵送にて配付及び回収）

5 調査期間

2015（平成27）年6月10日（水）～2015（平成27）年6月29日（月）

6 回収結果

発送数	不着数 ¹⁾	回収数	有効回答数 ²⁾	有効回答率 ³⁾
2,000	19	586	571	28.8%

1) 宛先不明により返送された調査票を示します。

2) 回収調査票のうち、自由記述を除き、属性に関する設問に1問以上回答し、かつ自由記述及び属性を除いた設問に対して、1設問以上回答している場合を有効回答としました。

3) 有効回答数 ÷ (発送数 - 不着数) × 100

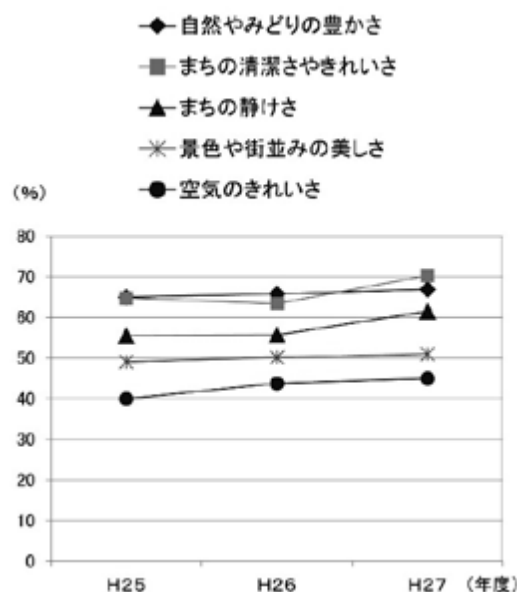
7 その他

- (1) 「n」は有効回答数を表し、グラフは「n」をもととした百分率（%）で示しています。
- (2) 百分率（%）の表示は、小数第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問では【複数回答】と表記しており、比率の合計が100%を超える場合があります。
- (4) 図表中の選択肢の表記について、語句等を一部簡略化している場合があります。

アンケート調査のまとめ

◆ 住まい周辺の身近な環境について

- 「身近な環境を総合的に見てどのように感じているのか」(問1)という質問に対し、「良い」・「やや良い」と回答した人が69.7%でした。区民のおおよそ3人に2人が、身近な環境を「良い」と感じていることが推測できます。
- 身近な環境に関する5項目(「空気のきれいさ」、「まちの静けさ(騒音や振動)」、「まちの清潔さやきれいさ」、「自然やみどりの豊かさ」、「景色や街並みの美しさ」)について、平成25年度と比較すると、すべての項目において、「良い」・「やや良い」を合計した割合が増加しており、身近な環境が向上していると感じていることがうかがえます。



◆ 環境にやさしい行動の取組み状況について

- 環境にやさしい行動の取組み状況について聞いたところ、「ごみの分別」や「資源回収」、「こまめな消灯」、「ものを大切に使う」、「公共交通機関の利用」などは「いつもしている」・「時々している」の合計した割合が90%以上であり、取組みとして定着していることがうかがえます。
- 平成25年度と比較すると、「マイバッグを利用する」「コンセントから電源プラグを抜く」は「いつもしている」・「時々している」の合計の割合が約5%減少し、「エコドライブを実践する」は約5%増加しています。それ以外の項目については、大きな変化は見られず、環境にやさしい行動の取組み状況は横這いとなっています。
- 平成26年度と比較すると、多くの項目で「本当はしたい」の割合が増加しています。このことから、「本当はしたい」と考えている人に情報・機会を提供することにより、さらなる取組みの拡大が期待されます。
- 昨年1年間のエネルギー使用状況を聞いたところ、電気・ガス・ガソリン(車)の項目で「減っている」が「増えている」の割合を超えていることがわかりました。「変わらない」という割合も増えているため節約の行動が定着したことがうかがえる反面、やるべきことはやったという限界に達しつつある側面もうかがえます。

◆ 区が行っている環境保全活動について

- 「環境保全の取組みに参加したことがあるか」(問11ア)という質問では、参加したことがある人が6.8%と低い数値でした。
- 環境保全の取組みに参加したことがない人に参加できない理由を聞いたところ、「参加する時間がない」が最も多く、次いで「1人では参加しにくいから」という結果でした。また「その他」として、「知らなかった、情報不足」などの回答もありました。
- 目黒区の施策に関する満足度について聞いたところ、すべての項目において、「どちらともいえない」が50%以上となっていました。

アンケート調査の結果

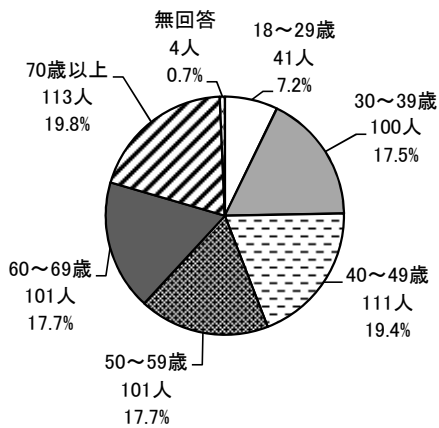
■ アンケート回答者の属性 (n=571)

< 性別 >

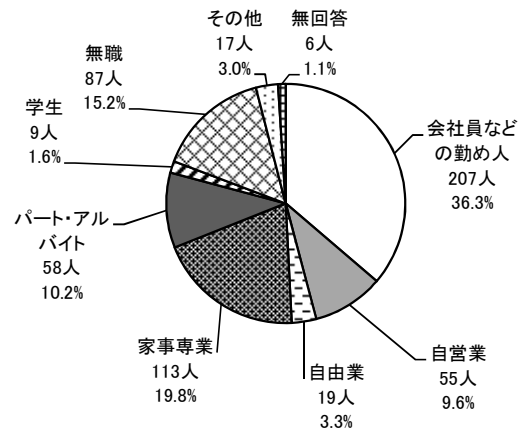
男性	女性	無回答
175人	368人	28人
30.6%	64.4%	4.9%

○無作為抽出では2,000人のうち、男性895人(44.8%)、女性1,105人(55.3%)でした。

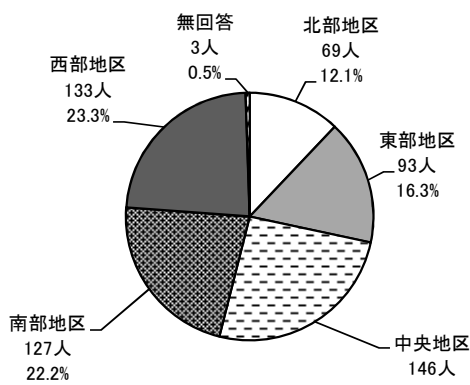
< 年齢 >



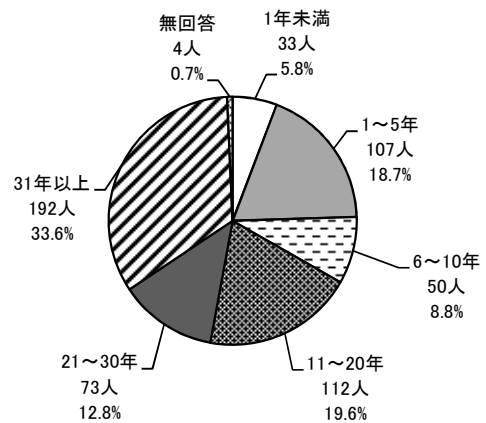
< 職業 >



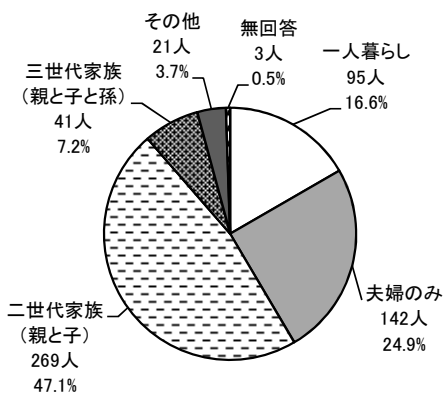
< 居住地区 >



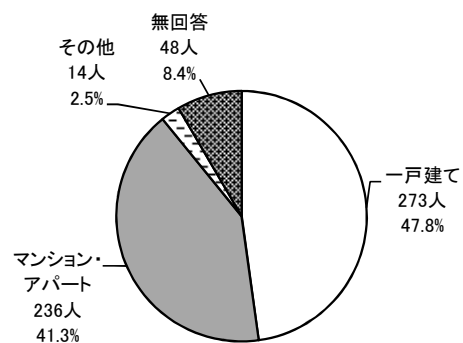
< 居住年数 >



< 世帯構成 >



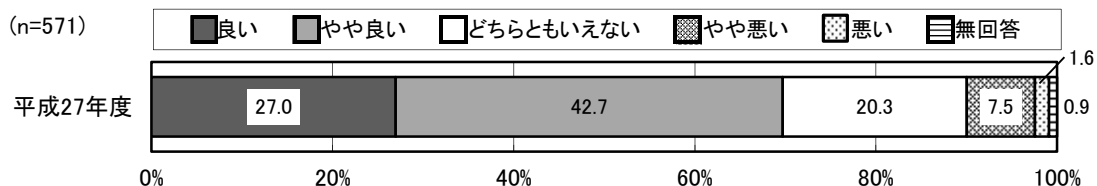
< 住宅の種類 >



■ 単純集計

1. 現在お住まいの身近な環境について（問1～問6）

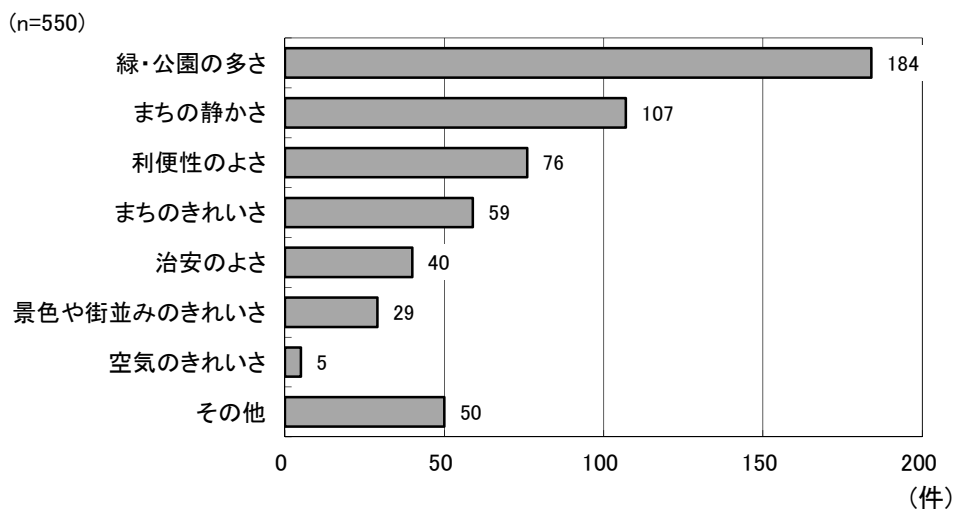
問1 身近な環境について、総合的に見てどのように感じていますか。



○ 「良い」・「やや良い」を合計した割合が69.7%であり、「悪い」・「やや悪い」を合計した割合の9.1%を大きく上回っています。このことから、身近な環境について良いと感じている人が多いことがうかがえます。

問2 問1で回答した理由をご記入ください(自由回答)。

<「良い」と思う理由 回答者数：347人、延べ回答件数：550件>



【具体的な内容（抜粋）】

緑・公園の多さ

- ・ 公園が近く、緑が多い
- ・ 四季を感じることができる
- ・ 安心して子どもを遊ばせることができる など

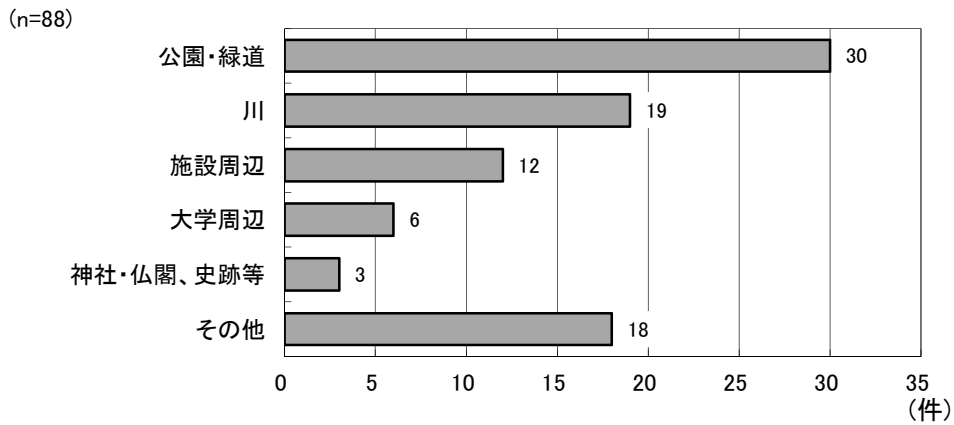
まちの静かさ

- ・ 静かで文化的な施設が多い
- ・ 閑静な住宅街が多い など

利便性のよさ

- ・ 駅周辺が区画整備されている
- ・ 病院や駅、商店街が近いので便利 など

<「良い」と思う場所 回答者数：66人、延べ回答件数：88件>



【具体的な内容（抜粋）】

公園・緑道

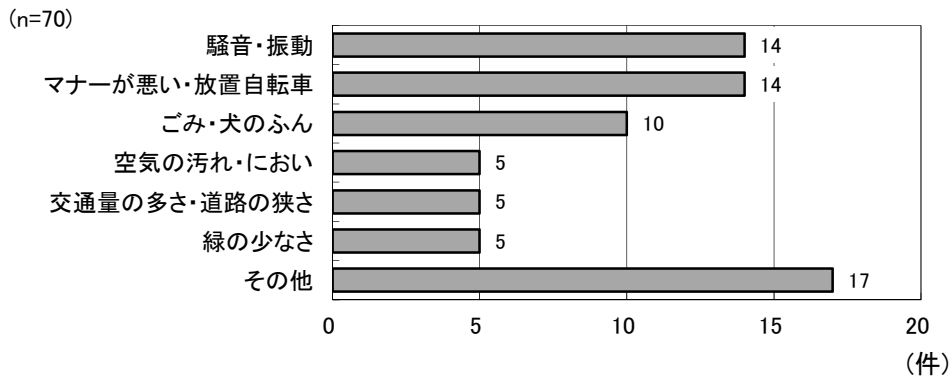
- ・ 林試の森公園、駒沢公園、碑文谷公園、駒場公園 など

川

- ・ 目黒川、呑川緑道 など

- 身近な環境を良いと感じるキーワードとして、緑と静かさ、利便性が挙げられます。
- 「良い」と思う場所では、88件中49件が公園や川に関する場所であり、自然が感じられる場所が回答される傾向にありました。

<「悪い」と思う理由 回答者数：48人、延べ回答件数：70件>



【具体的な内容（抜粋）】

騒音・振動

- ・ 大型車両等による振動
- ・ 近隣の生活騒音 など

マナーが悪い・放置自転車

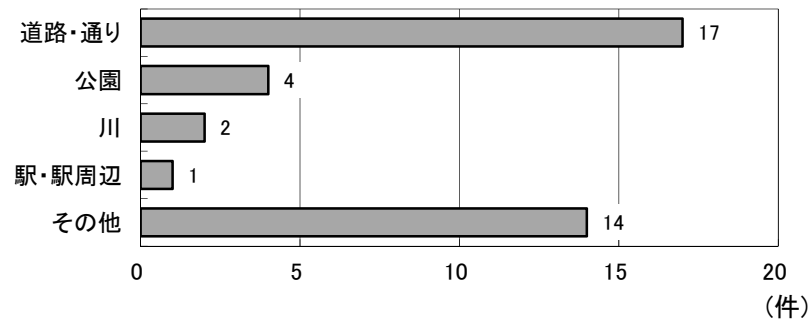
- ・ ゴミ出しのマナーが悪い
- ・ 喫煙者のマナーが悪い など

ごみ・犬のふん

- ・ 通り沿いにゴミが多い など

<「悪い」と思う場所 回答者数：32人、延べ回答件数：38件>

(n=38)



【具体的な内容（抜粋）】

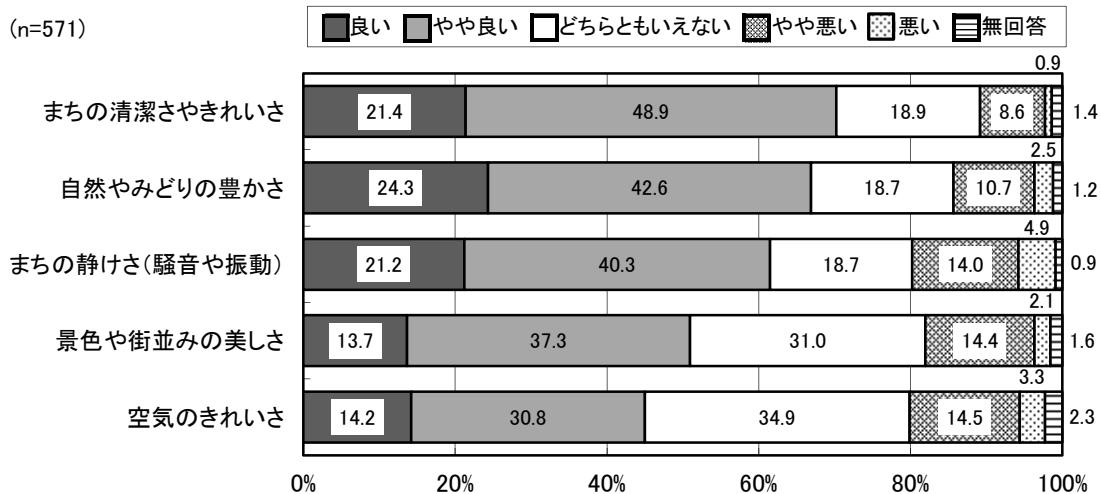
道路・通り

- ・ 目黒通り・山手通り・環状7号線の騒音
- ・ 歩道が狭い など

- 身近な環境を悪いと感じるキーワードとして、騒音、マナーの悪さが挙げられます。
- 「悪い」と思う場所では、38件中17件が道路に関する場所でした。

問3 身近な環境について、どのように感じていますか。

(n=571)



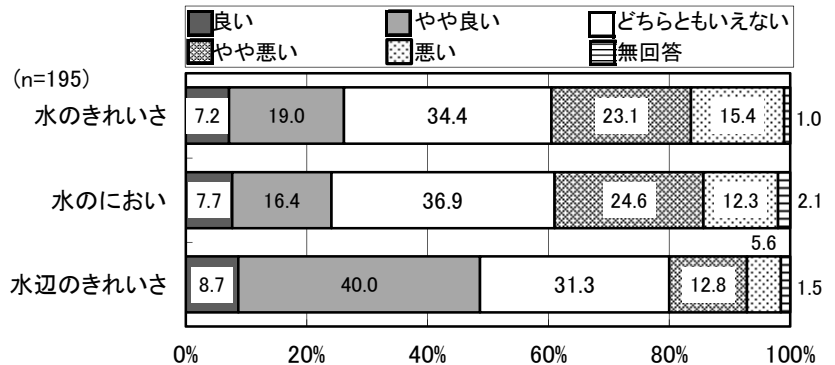
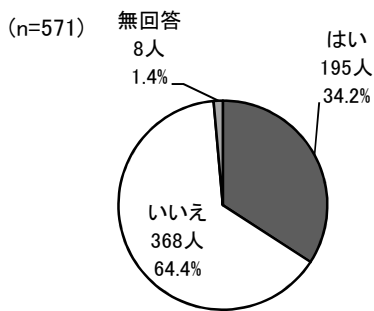
- すべての項目において、「良い」・「やや良い」を合計した割合が、「悪い」・「やや悪い」を合計した割合よりも高くなっています。
- 平成25年度と比較すると、すべての項目において、「良い」・「やや良い」を合計した割合が増加しており、身近な環境が向上していると感じていることがうかがえます。
- 項目別に見ると、「自然やみどりの豊かさ」「まちの静けさ（騒音や振動）」「空気のきれいさ」で、平成25年度から「良い」・「やや良い」と感じている人が特に増加しています。

問4 (ア) お住まいの近くに川や池がありますか。

(イ) お住まいの近くに川や池があるかたにお聞きします。

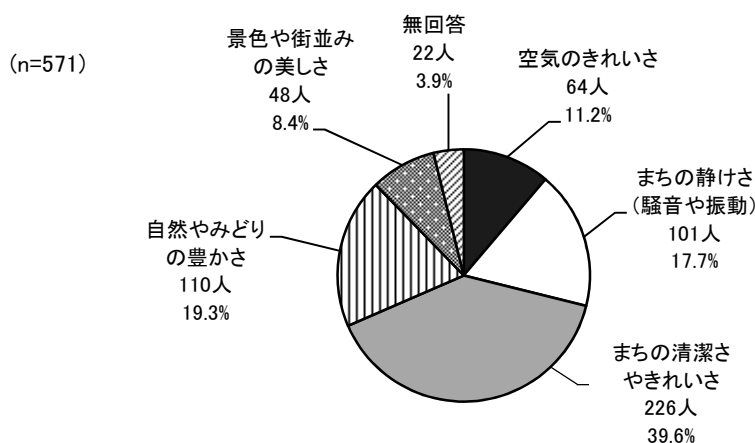
(ア) 川や池がありますか。

(イ) 川や池があるかたにお聞きします。



- 住まいの近くに川や池があると回答した人は、34.2%でした。
- 「水のきれいさ」(26.2%)、「水のおいしさ」(24.1%)は、「良好」・「やや良好」の合計の割合が「悪い」・「やや悪い」の合計の割合より下回っています。
- 「水辺のきれいさ」は、「良好」・「やや良好」を合計した割合が48.7%であり、「悪い」・「やや悪い」を合計した値の18.4%より高くなっています。
- 平成25年度と比較すると、すべての項目において「良好」・「やや良好」を合計した割合は増加していますが、約1～2%程度の増加となっています。

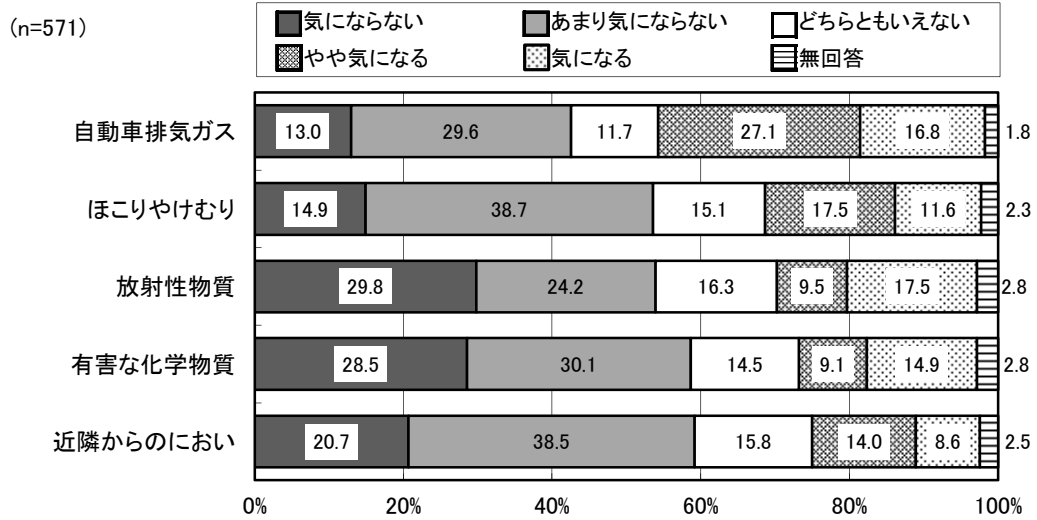
問5 身近な環境について、あなたが最も重要と思う項目はどれですか。



- 最も重要と思う項目としては、「まちの清潔さやきれいさ」が39.6%と最も多くなっています。次いで、「自然やみどりの豊かさ」が19.3%、「まちの静けさ(騒音や振動)」が17.7%となっています。

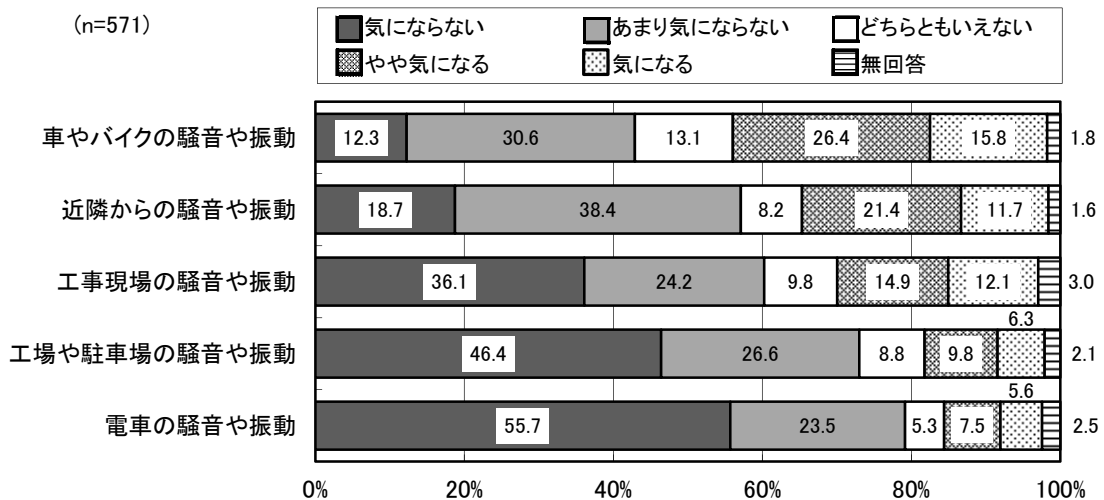
問6 身近な環境について、日頃どのように感じていますか。

(1) 空気のきれいさについて



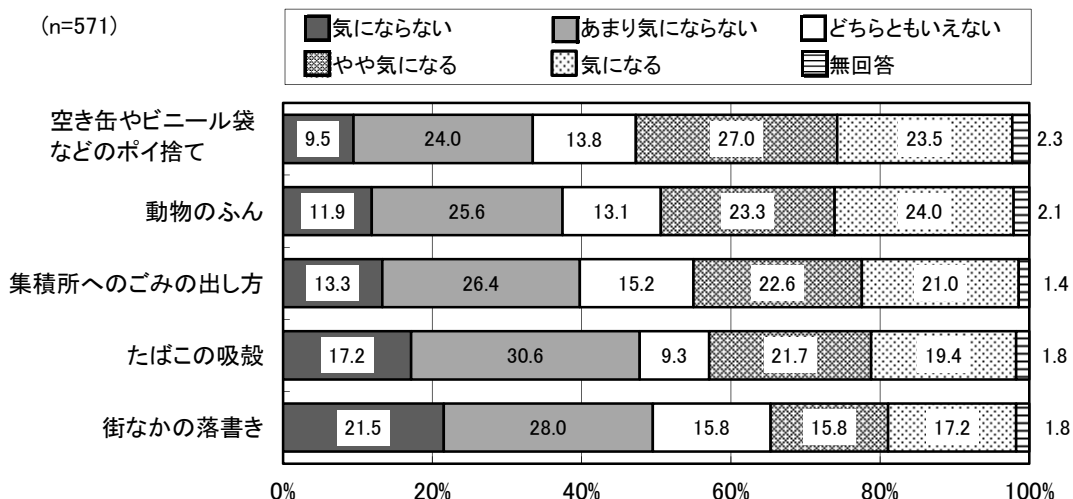
- 空気について最も気になる項目は、「自動車排気ガス」で、「気になる」・「やや気になる」を合計した割合が43.9%となっています。
- 「自動車排気ガス」以外の4つの項目では、「気になる」・「やや気になる」の合計の割合が「気にならない」・「あまり気にならない」の合計の割合を下回っています。

(2) まちの静けさ（騒音や振動）について



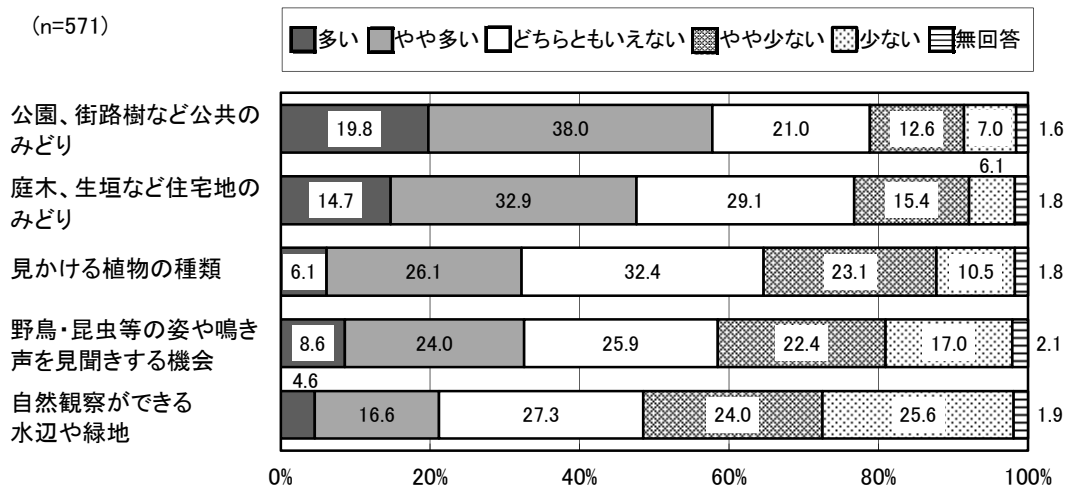
- 静けさについて最も気になる項目は、「車やバイクの騒音や振動」で、「気になる」・「やや気になる」を合計した割合が42.2%となっています。
- すべての項目において、「気になる」・「やや気になる」の合計の割合が「気にならない」・「あまり気にならない」の合計の割合より下回っています。

(3) まちの清潔さやきれいさについて



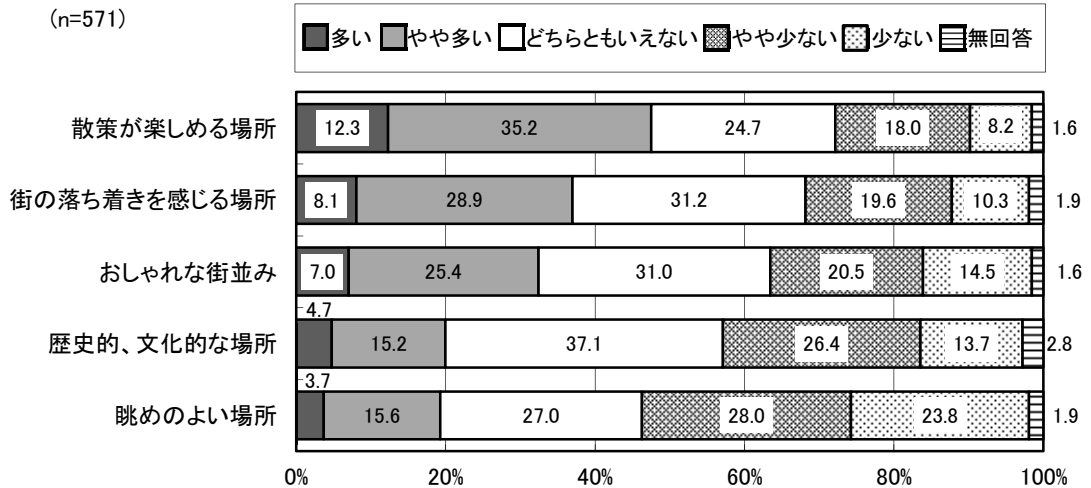
- 清潔さやきれいさについて最も気になる項目は、「空き缶やビニール袋などのポイ捨て」で、「気になる」・「やや気になる」を合計した割合が50.5%となっています。次いで「動物のふん」(47.3%)、「集積所へのごみの出し方」(43.6%)となっています。
- 「たばこの吸殻」「街なかの落書き」以外の3つの項目では、「気になる」・「やや気になる」の合計の割合が「気に入らない」・「あまり気に入らない」の合計の割合を上回っています。

(4) 自然やみどりの豊かさについて



- 自然やみどりについて、「多い」・「やや多い」の合計の割合が最も高いのは、「公園、街路樹など公共のみどり」(57.8%)で、次いで「庭木、生垣など住宅地のみどり」(47.6%)となっています。
- みどりの量は多く感じているものの、みどりとのふれあいの場や機会が少ないと感じていることがうかがえます。

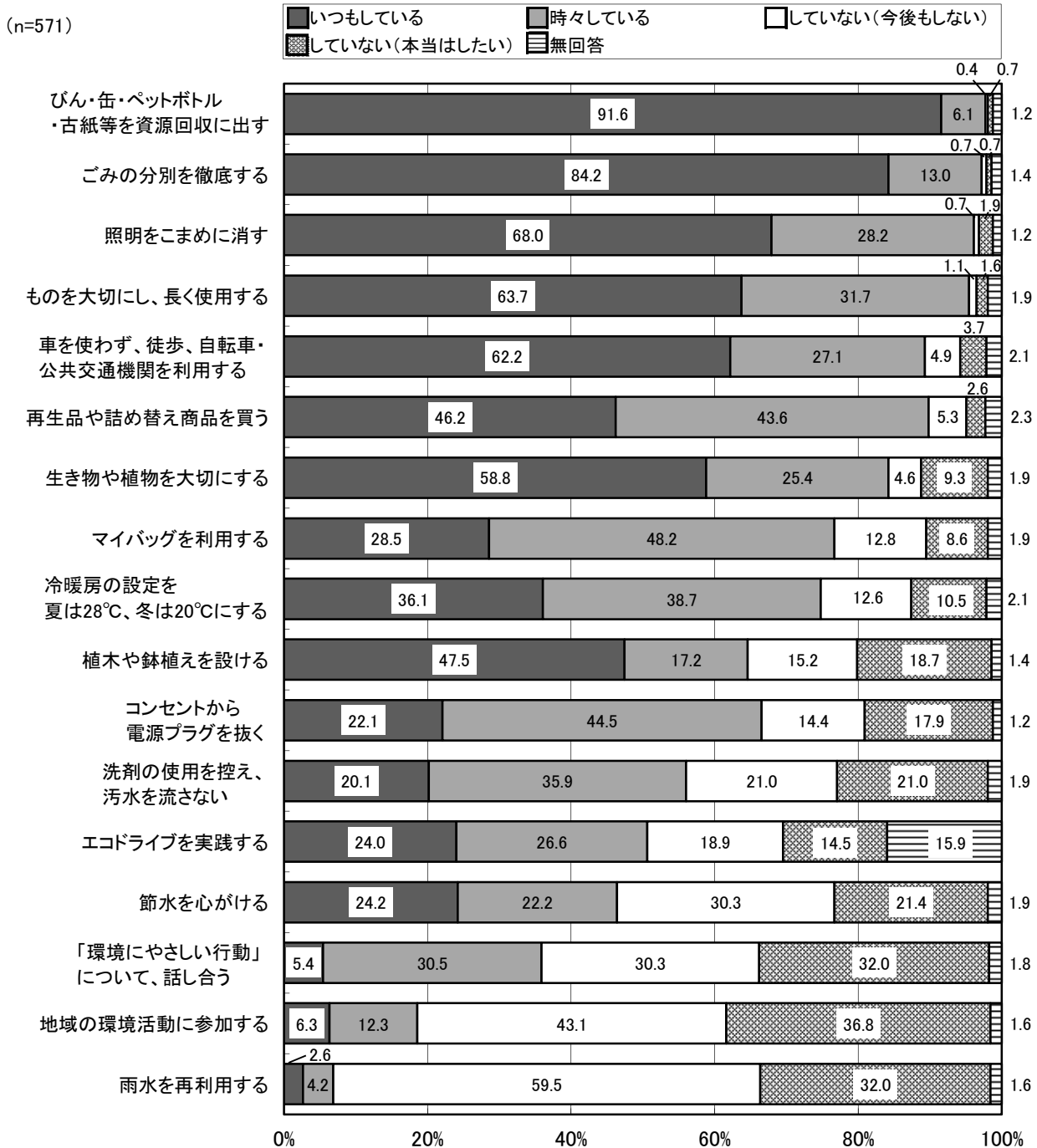
(5) 景色や街並みの美しさについて



- 景色や街並みの美しさについて、「多い」・「やや多い」の合計の割合が最も高いのは、「散策が楽しめる場所」(47.5%)であり、次いで「街の落ち着きを感じる場所」(37.0%)となっています。
- 「おしゃれな街並み」(32.4%)、「歴史的、文化的な場所」(19.9%)、「眺めのよい場所」(19.3%)は、「多い」・「やや多い」の合計の割合が「少ない」・「やや少ない」の合計の割合より下回っています。

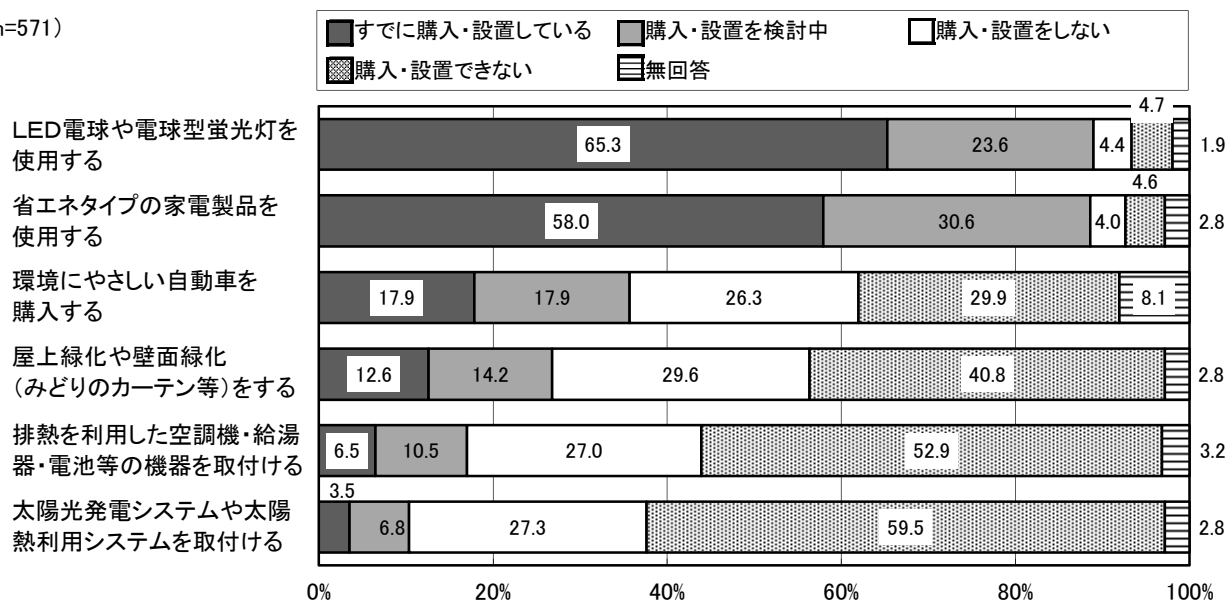
2. 環境にやさしい行動の取組み状況について（問7～問10）

問7 あなたは「家庭でできる環境にやさしい行動」を、普段どの程度行っていますか。



- 資源回収やごみの分別、こまめな消灯、ものを長く使うことは、「いつもしている」・「時々している」の合計の割合が9割を超えており、取組みとして定着していることがうかがえます。
- 平成25年度と比較すると、「マイバッグを利用する」「コンセントから電源プラグを抜く」は「いつもしている」・「時々している」の合計の割合が約5%減少し、「エコドライブを実践する」は約5%増加しています。それ以外の項目における取組み状況は、ほぼ横ばいとなっています。

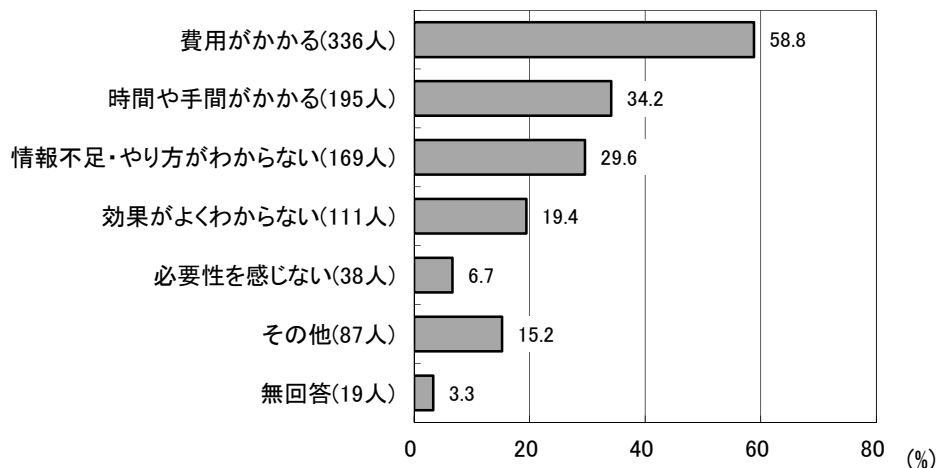
(n=571)



- 「すでに購入・設置している」が高い項目は、「LED 電球や電球型蛍光灯を使用する」(65.3%)、「省エネタイプの家電を使用する」(58.0%)となっています。また両項目の「購入・設置を検討中」を含めると、85%を超えた値となります。
- 「すでに購入・設置している」が低い項目としては、「太陽光発電・太陽熱利用システムを取り付ける」(3.5%)、「排熱を利用した機器を取り付ける」(6.5%)となっています。両項目とも「購入・設置できない」の割合が50%を超えています。この理由としては、価格が高いことと、賃貸住宅など居住形態による物理的な制約があることが考えられます。

問8 あなたにとって、「家庭でできる環境にやさしい行動」に対して取り組むことが難しい理由は何ですか。【複数回答】

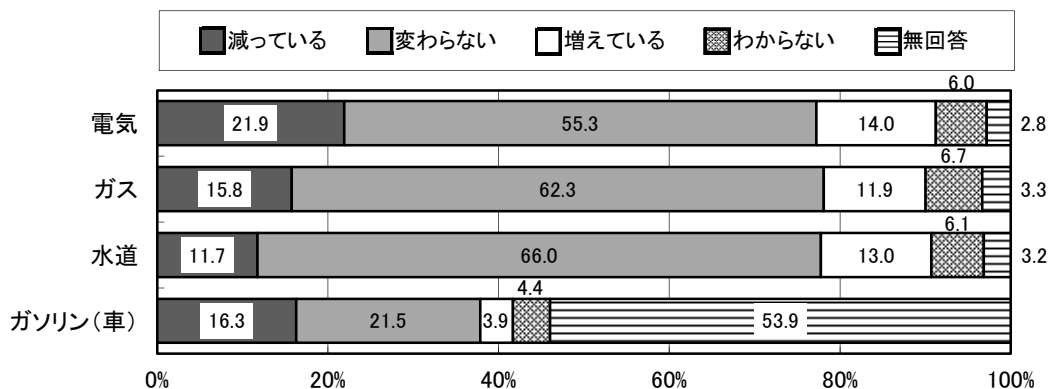
(n=571)



- 取り組むことが難しい理由としては、「費用がかかる」が最も高い割合(58.8%)を占めています。次いで、「時間や手間がかかる」(34.2%)、「情報不足・やり方がわからない」(29.6%)となっています。
- 「その他」は、「賃貸・マンションのため」(54件)が最も多く、「年齢・体力的に難しい」(12件)、「できることはやっている」(8件)などの回答がありました。

問9 (ア) あなたの世帯の電気・ガス・ガソリン(車)の昨年1年間の使用量は、その前の1年間と比べて、どのように変化していますか。

(n=571)



- 電気、ガス、ガソリン(車)の各使用量において、「減っている」が「増えている」の割合を超えています。
- 電気やガスで「変わらない」と回答している人が多いのは、既に節約が定着している人も含まれていると考えられます。

問9 (イ) 変化した原因や使用量削減のための工夫などを記入してください。

<減少の理由 回答者数：155人、延べ回答件数：174件>

理由	件数	具体例
節電・節約を心がけているため	59	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンを減らし、扇風機を利用。 ・使っていない部屋の電気をこまめに消す。 ・エアコンの設定温度を見直す。
省エネ機器を導入したため	59	<ul style="list-style-type: none"> ・LED電球、省エネ家電への買い替えのため。 ・エコカーにした。 ・太陽光発電にした。
交通手段を変えたため	29	<ul style="list-style-type: none"> ・車を使わずなるべく自転車に乗るようにしているため。 ・車を使用しないで公共の機関を利用しているため。 ・遠出をしない。
生活・行動スタイルが変わったため	14	<ul style="list-style-type: none"> ・転居し住宅が狭くなったため。
家族が減ったため	13	<ul style="list-style-type: none"> ・家族構成が変わったため。

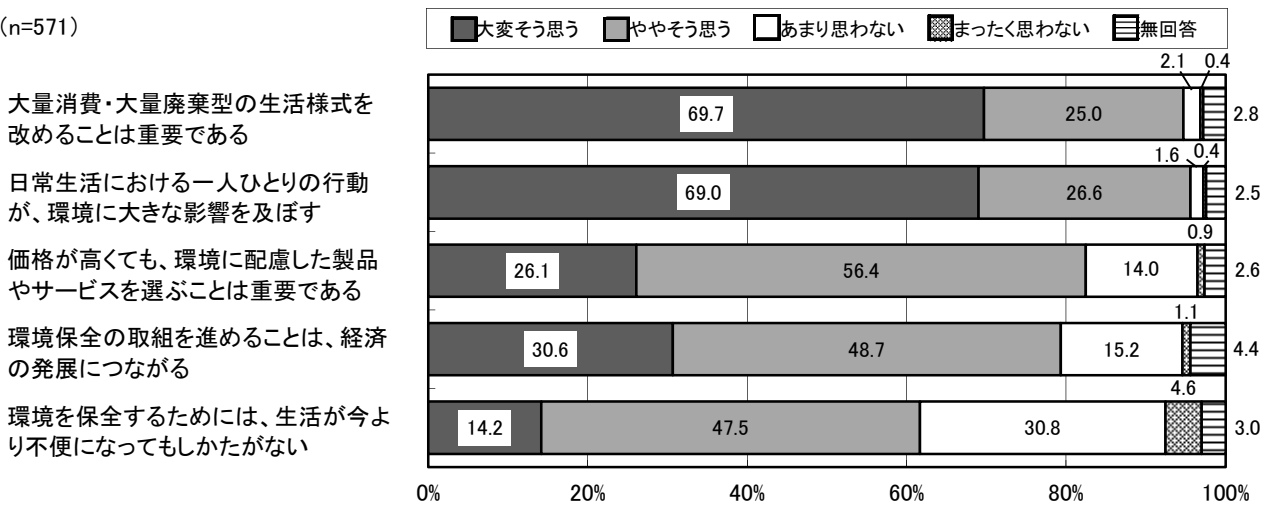
<増加の理由 回答者数：81人、延べ回答件数：84件>

理由	件数	具体例
家族が増えたため	25	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが増えたため。
生活・行動スタイルが変わったため	21	<ul style="list-style-type: none"> ・転居し住宅が広くなったため。 ・家にいる時間が増えたため。
料金が上がったため	17	<ul style="list-style-type: none"> ・電気・ガス・水道・ガソリン代の値上げ。 ・消費税増税のため。
電化製品を増やしたり、変えたため	15	<ul style="list-style-type: none"> ・電気自動車にしたため。 ・冷暖房設備を変えた。
気候が厳しいため	6	<ul style="list-style-type: none"> ・冬が寒かったため

- 減少の理由のうち、「節電・節約を心がけているため」と「省エネ機器の導入したため」が、延べ回答件数の67.8%を占めています。

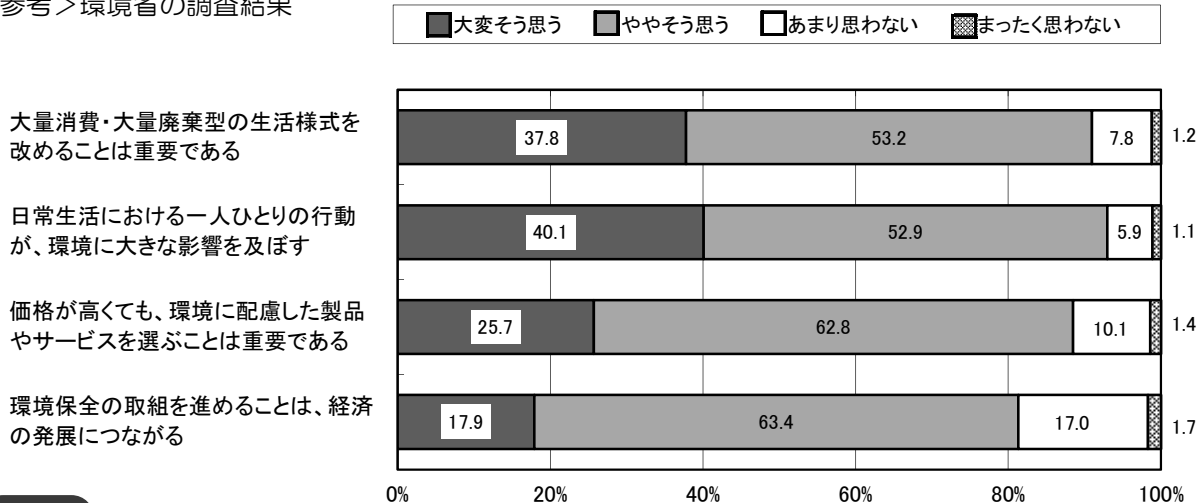
問10 環境と経済に関する各意見について、あなたの考えに近いものはどれですか。

(n=571)



- すべての項目で「大変そう思う」・「ややそう思う」の合計値が60%以上となり、環境に対する取組みについて、肯定的な意見を持つ人が多いことがうかがえます。
- 項目別に見ると、「環境を保全するためには、生活が今より不便になってもしかたがない」で、「大変そう思う」・「ややそう思う」の合計値が、平成25年度から減少傾向となっています。
- 下図の〈参考〉にある環境省の調査結果と比べると、すべての項目において「大変そう思う」の割合が目黒区の調査結果のほうが高くなっています。

〈参考〉環境省の調査結果



WEB

環境省>総合環境政策>環境基本計画>環境にやさしいライフスタイル実態調査等>平成26年度調査
環境にやさしいライフスタイル実態調査(国民調査の結果)>2. 結果の概要>2.5環境問題に対する考え方等への意見・考え

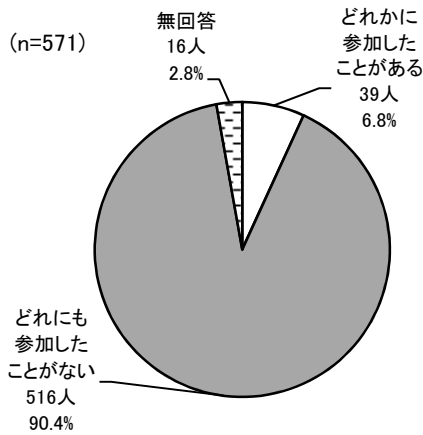
http://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/lifestyle/h2704_01/chpt_2_05.pdf

出典 環境省ホームページより(調査結果一部抜粋)

3. 目黒区で行っている環境保全活動について（問11～問16）

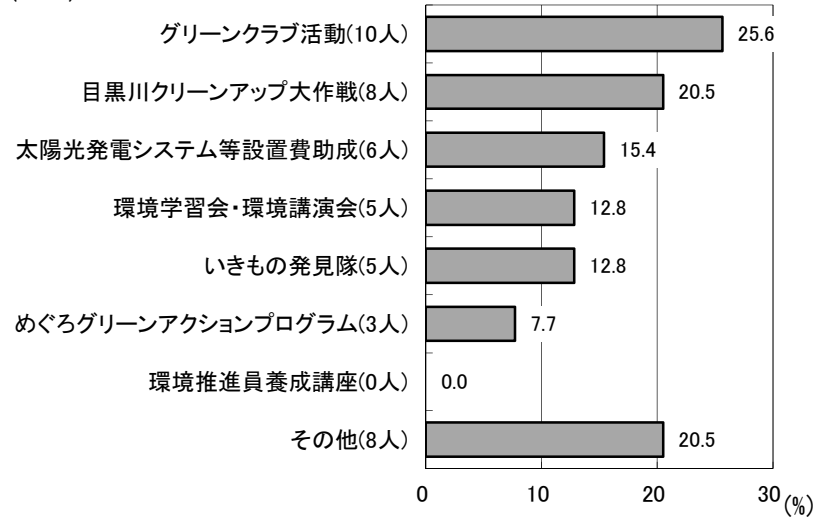
問11(ア) 区では、枠内に示すような環境保全に関する取組み・支援を行っています。これらの取組みに参加したことがありますか。

<参加の有無>



<参加したことがある取組み>

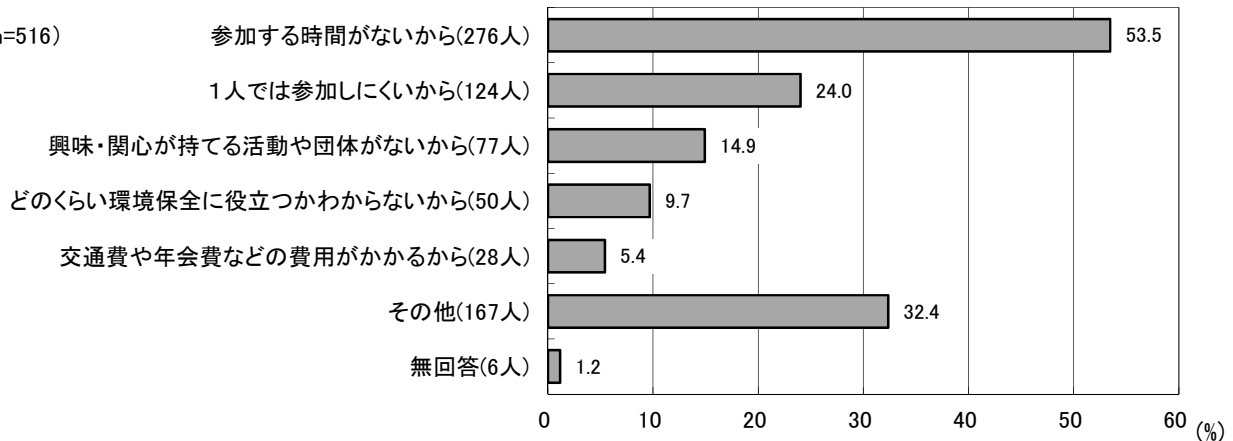
(n=39)



- 環境保全に関する取組みに「どれにも参加したことがない」が90.4%となっています。
- 参加したことがある取組みの中では、「グリーンクラブ活動」（25.6%）と「目黒川クリーンアップ大作戦」（20.5%）が比較的多くなっています。
- 「その他」では、「美化デー」（1件）「みどりのまちなみ助成」（1件）などの回答がありました。

問11(イ) どれにも参加したことがない方のみにお聞きします。参加できない理由は何ですか。

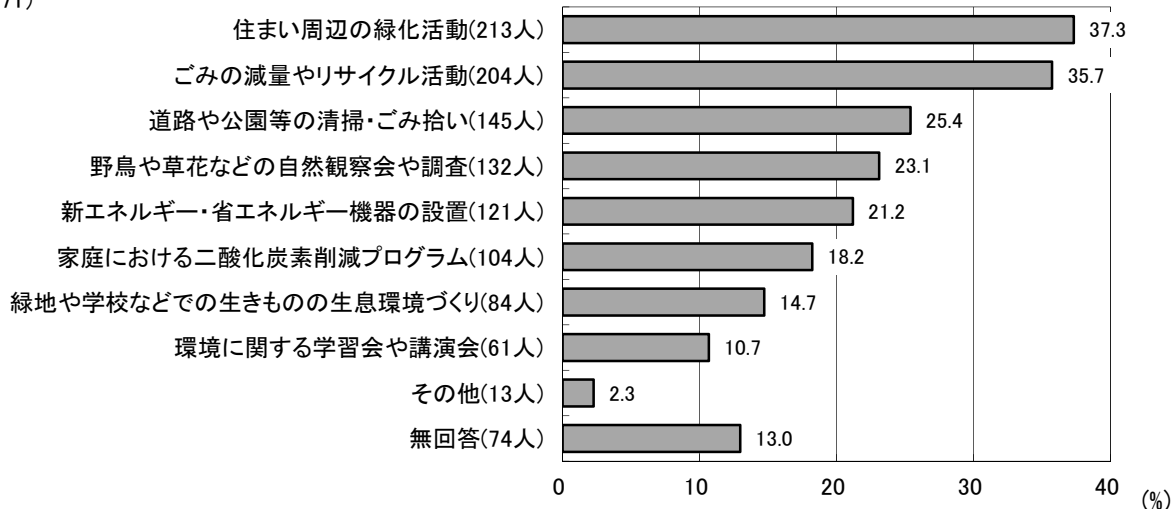
(n=516)



- 参加していない理由としては、「参加する時間がないから」が53.5%と最も多くなっています。次いで、「1人では参加しにくいから」（24.0%）、「興味・関心が持てる活動や団体がないから」（14.9%）となっています。
- 「その他」の理由としては、「知らなかった、情報不足」（108件）、「高齢、体調不良」（22件）「転入したばかり」（6件）などの回答がありました。

問12 今後、環境活動に参加するとすれば、どのような活動に興味がありますか。【複数回答】

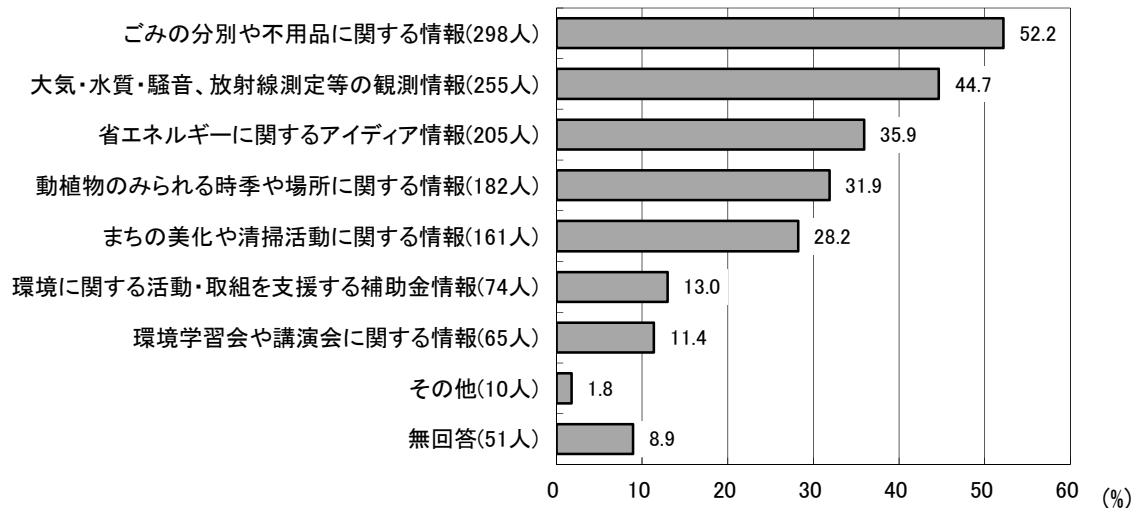
(n=571)



○ 興味がある活動としては、「住まい周辺の緑化活動」(37.3%)が最も多く、次いで「ごみの減量やリサイクル活動」(35.7%)、「道路や公園等の清掃・ごみ拾い」(25.4%)となっています。

問13 区から発信される環境情報のうち、どのような情報の充実を望みますか。【複数回答】

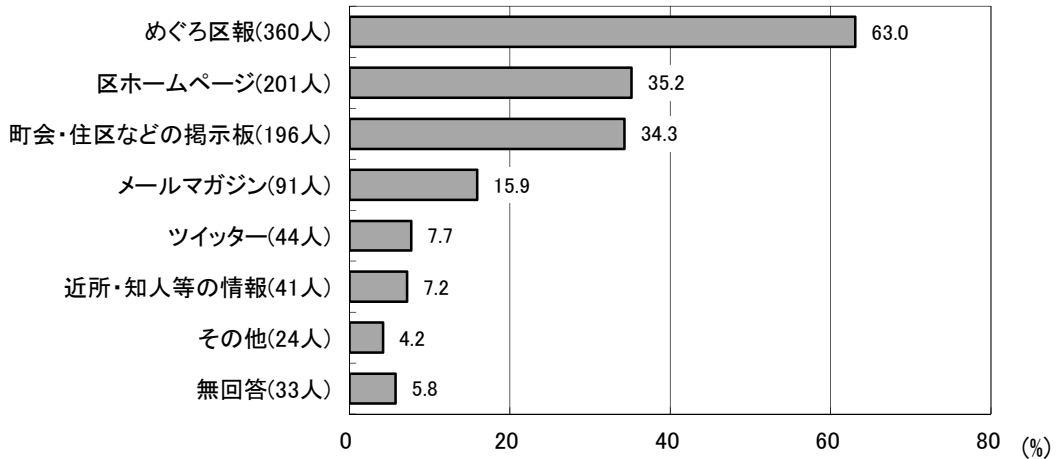
(n=571)



○ 「ごみの分別や不用品に関する情報」(52.2%)が最も多く、次いで「大気・水質・騒音、放射線測定等の観測情報」(44.7%)、「省エネルギーに関するアイデア情報」(35.9%)と続いています。

問14 区からの環境情報を得るために、どのような媒体が利用しやすいですか。【複数回答】

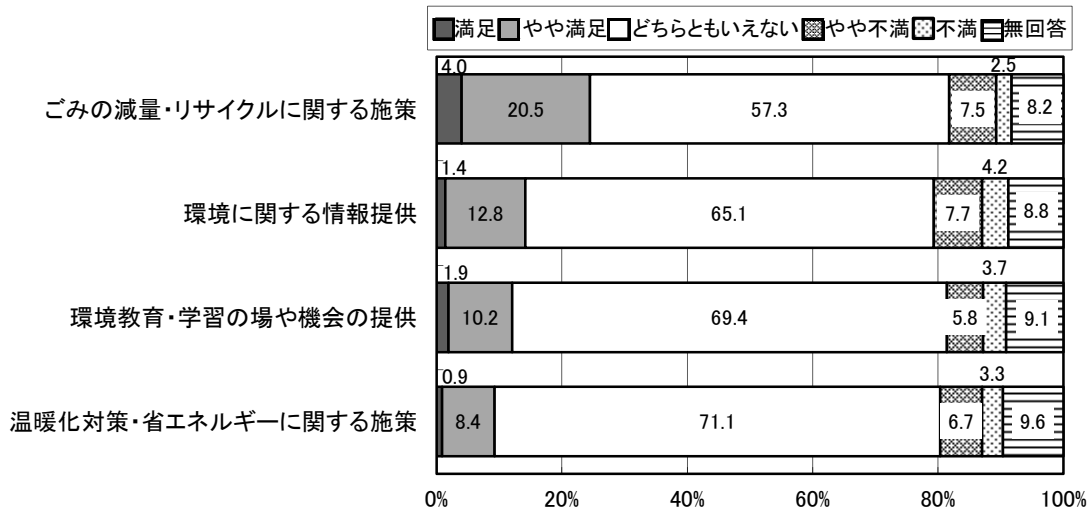
(n=571)



- 「めぐろ区報」が63.0%と最も多く、次いで「区ホームページ」(35.2%)、「町会・住区などの掲示板」(34.3%)となっています。
- 「その他」では、「回覧板」(9件)、「郵送・チラシ」(7件)、「フェイスブック」(6件)などの回答がありました。

問15 目黒区の施策に関する満足度をお聞きます。

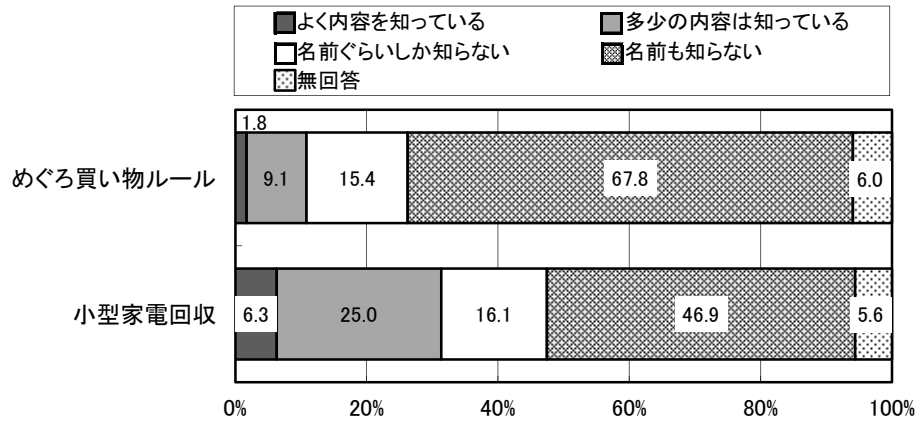
(n=571)



- すべての項目において、「どちらともいえない」が50%以上となっています。
- 「ごみの減量・リサイクルに関する施策」は、「満足」・「やや満足」の合計値が24.5%と、他の項目より満足度が高い結果となっています。
- 平成25年度と比較すると、すべての項目において、「満足」・「やや満足」を合計した割合が減少しており、区の施策に関する満足度は低下しています。

問16 リサイクルに関するルールや制度についてお聞きします。

(n=571)



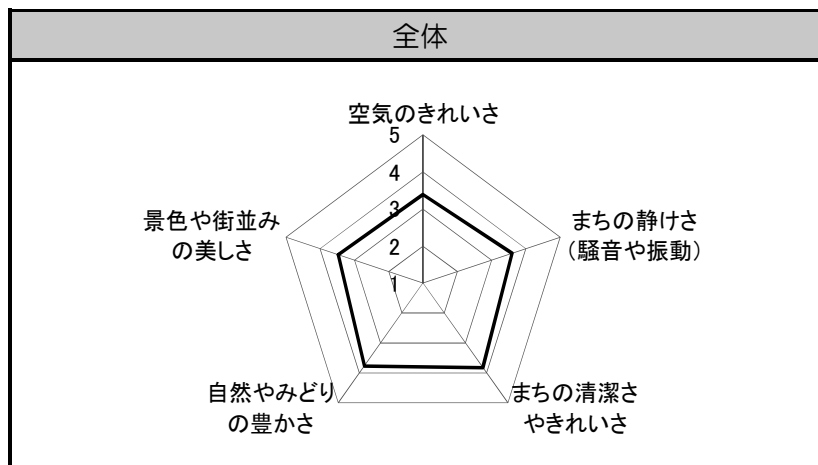
- いずれの項目も、「名前も知らない」が45%以上となっています。
- 「小型家電回収」は、「よく内容を知っている」・「多少の内容は知っている」・「名前ぐらしか知らない」の合計値が47.4%となっています。

■ 身近な環境の感じ方

問3 身近な環境について、どのように感じていますか。

(全体集計)

<身近な環境を5段階で表したグラフ>



- 身近な環境にかかわる各項目についての評価点は、3.39～3.82点となりました。
- 5項目中最も評価点が高い項目は、「まちの清潔さやきれいさ」(3.82点)でした。
- 5項目中最も評価点が低い項目は、「空気きれいさ」(3.39点)でした。

(グラフの見方について)

- 評価点数の算出にあたっては、問3 (P.75) 又は問6 (P.77～79) の単純集計回答結果をもとにし、下表のとおり点数を割り当て集計した値をレーダーチャート形式で表示しています。
- レーダーチャートのグラフ中心は1点、最外周は5点を示しています。
- 問3のグラフから、身近な環境についての5項目に対する評価が相対的にわかります。
- 問6のグラフからは、問3で聞いた身近な環境の5項目それぞれについて、さらに詳細な項目別の評価がわかります。
- そこで、P.89～93では、居住地区別に詳細な項目別の評価結果を整理しました。項目別に評価点を分析することで、身近な環境の評価に影響を及ぼす要因を類推することができます。

<各問における点数の割り当て>

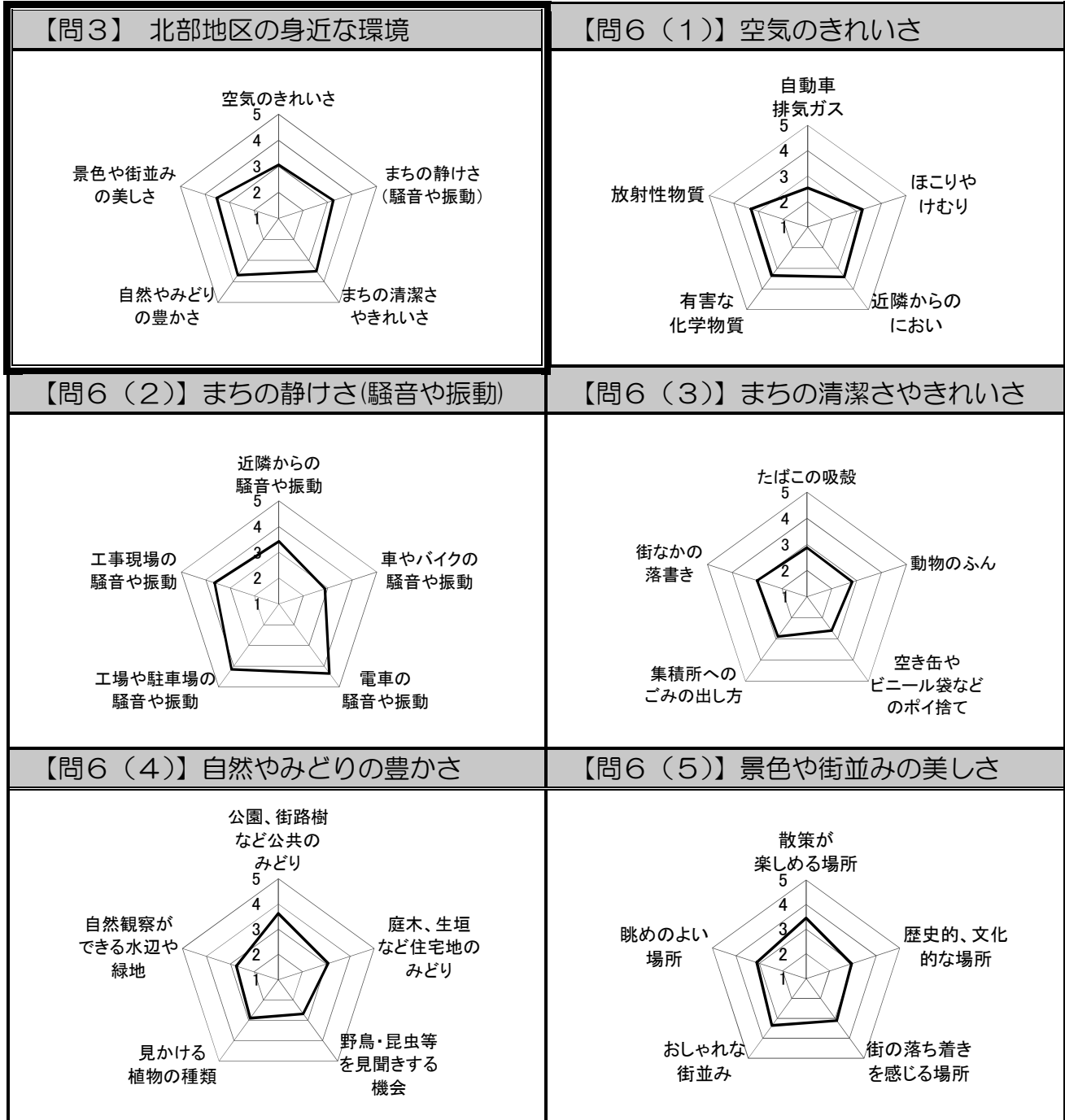
問	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い
問3	5	4	3	2	1
問6 (1)～(3)	気にならない	あまり気にならない	どちらともいえない	やや気になる	気になる
問6 (4)～(5)	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない

問3 身近な環境について、どのように感じていますか。

問6 身近な環境について、日頃どのように感じていますか。

《 北部地区 》

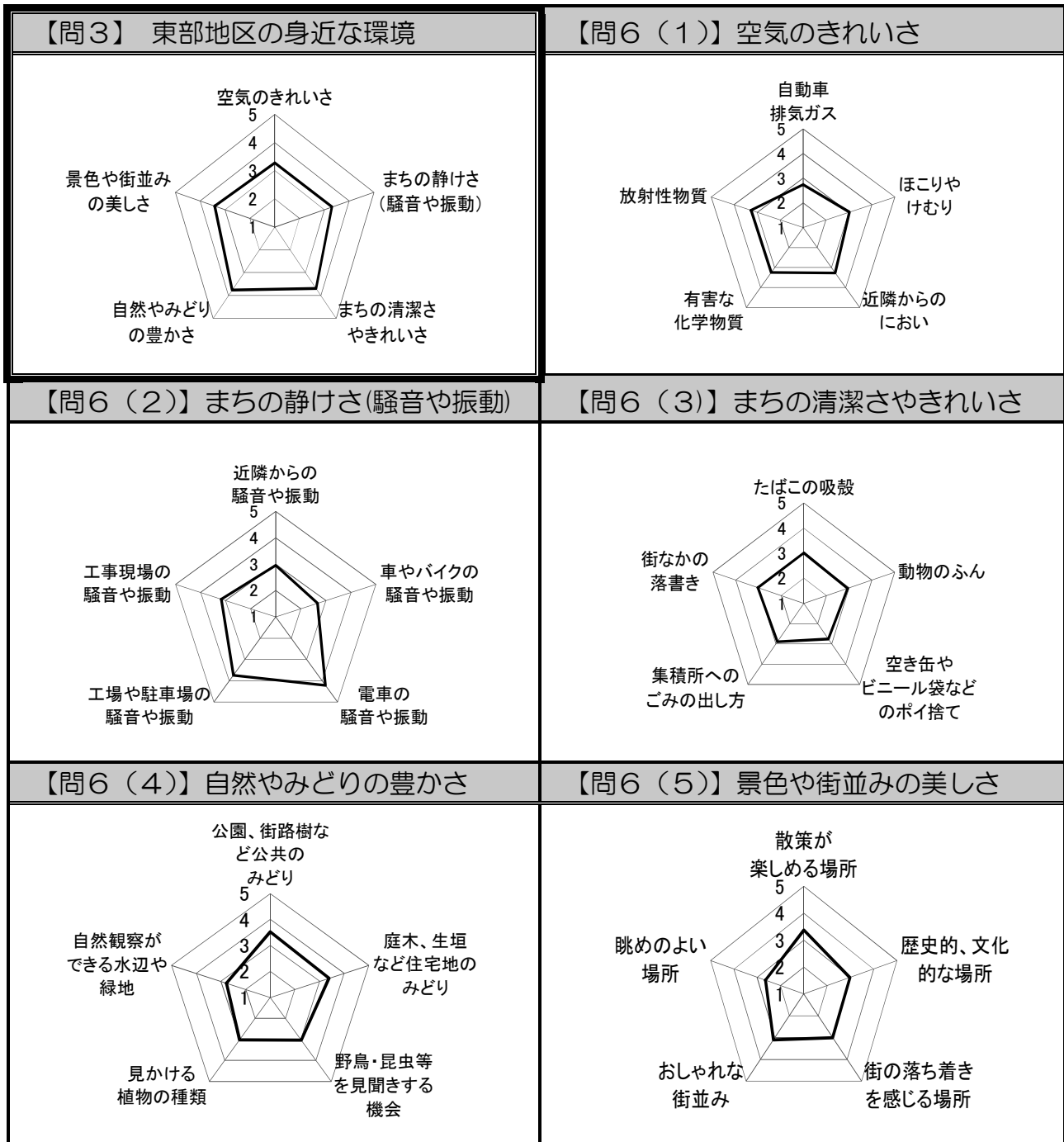
〈北部地区の身近な環境を5段階で表したグラフ〉



- 問3における身近な環境5項目の中では、「自然やみどりの豊かさ」が最も評価点が高くなっています。問6 (4)の「自然やみどりの豊かさ」を項目別にみると、「公園、街路樹などの公共のみどり」が高くなっています。
- 問3における身近な環境5項目の中では、「空気のきれいさ」の評価点が低くなっています。問6 (1)の「空気のきれいさ」を項目別に見ると、「自動車排気ガス」の評価点が最も低くなっています。

《 東部地区 》

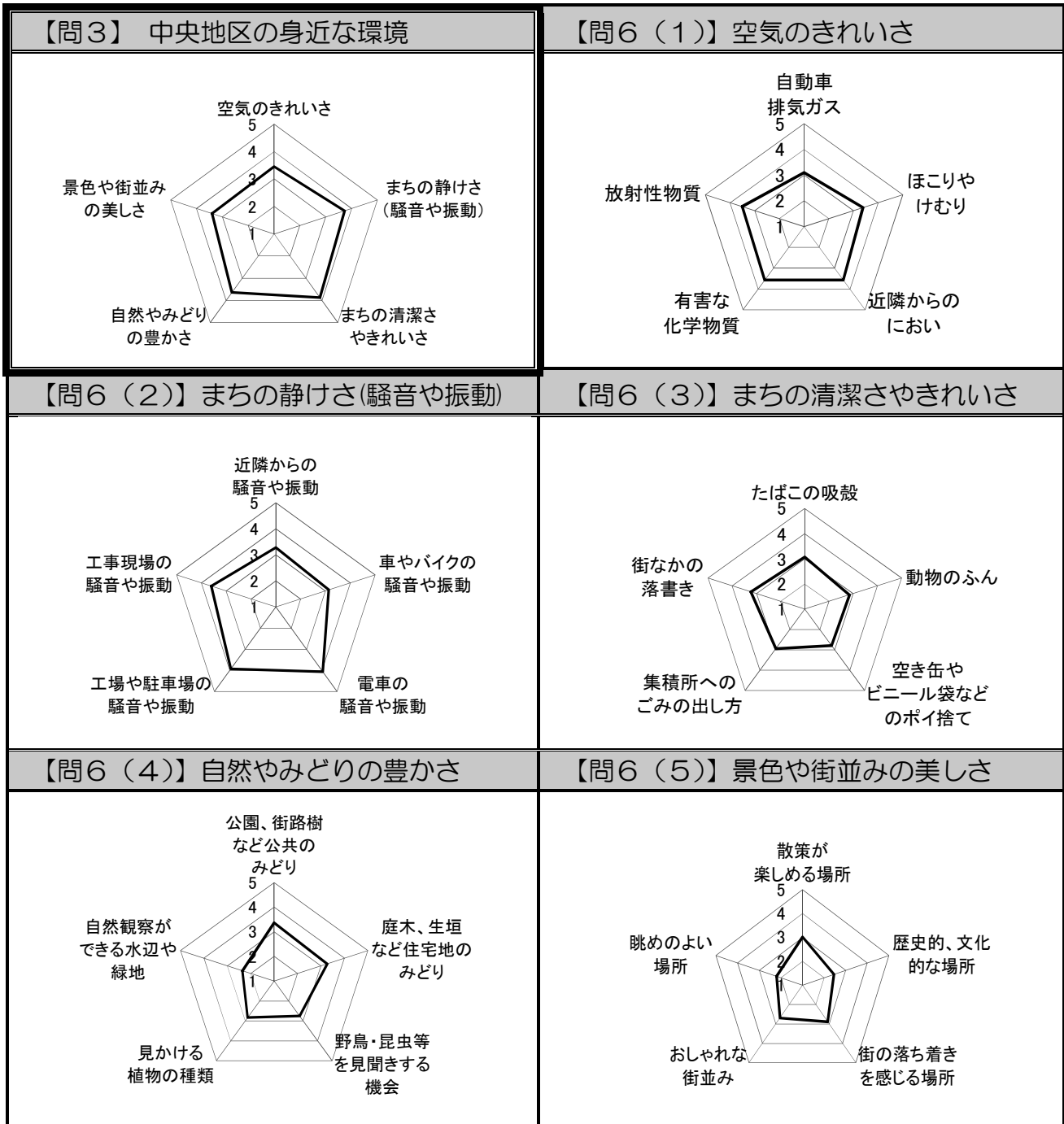
＜東部地区の身近な環境を5段階で表したグラフ＞



- 問3における身近な環境5項目の中では、「自然やみどりの豊かさ」や「まちの清潔さやきれいさ」の評価点が高くなっています。
- 問6 (4) の「自然やみどりの豊かさ」を項目別にみると、「公園、街路樹など公共のみどり」や「庭木、生垣など住宅地のみどり」の評価点が高くなっています。
- 問3における身近な環境5項目の中では、「空気のきれいさ」の評価点が低くなっています。問6 (1) の「空気のきれいさ」を項目別に見ると、「自動車排気ガス」の評価点が最も低くなっています。

《 中央地区 》

＜中央地区の身近な環境を5段階で表したグラフ＞

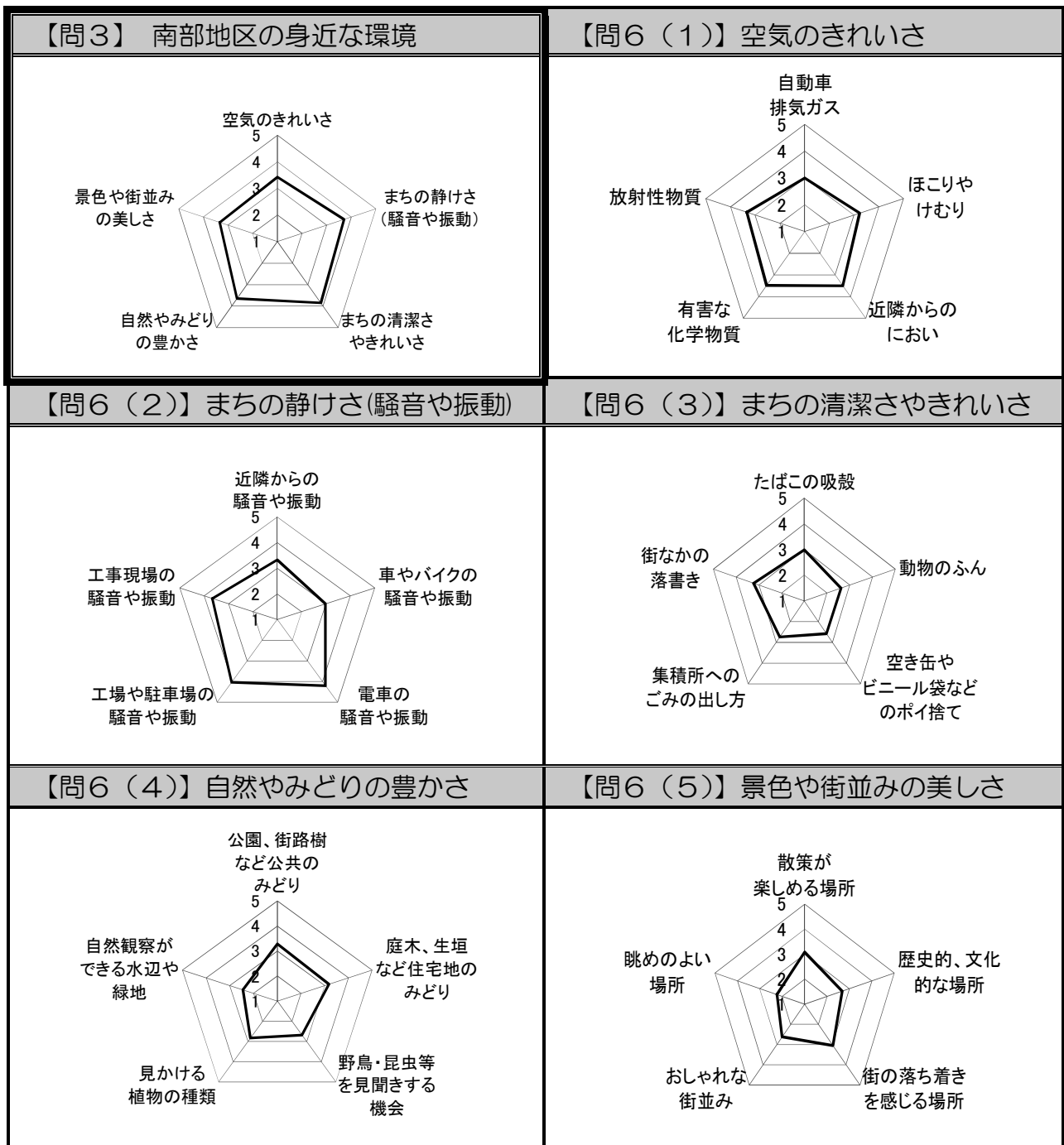


- 問3における身近な環境5項目の中では、「まちな清潔さやきれいさ」の評価点がやや高くなっていますが、それ以外の項目も同程度の評価点となっています。
- 問6 (3) の「まちな清潔さやきれいさ」を項目別に見ると、「街なかの落書き」「たばこの吸殻」以外の評価点が3点以下と低くなっています。この問3と問6との結果の差は、全体的にはきれいな印象は持つものの、具体的な点については不満を持っていることがうかがえます。

資料編

《 南部地区 》

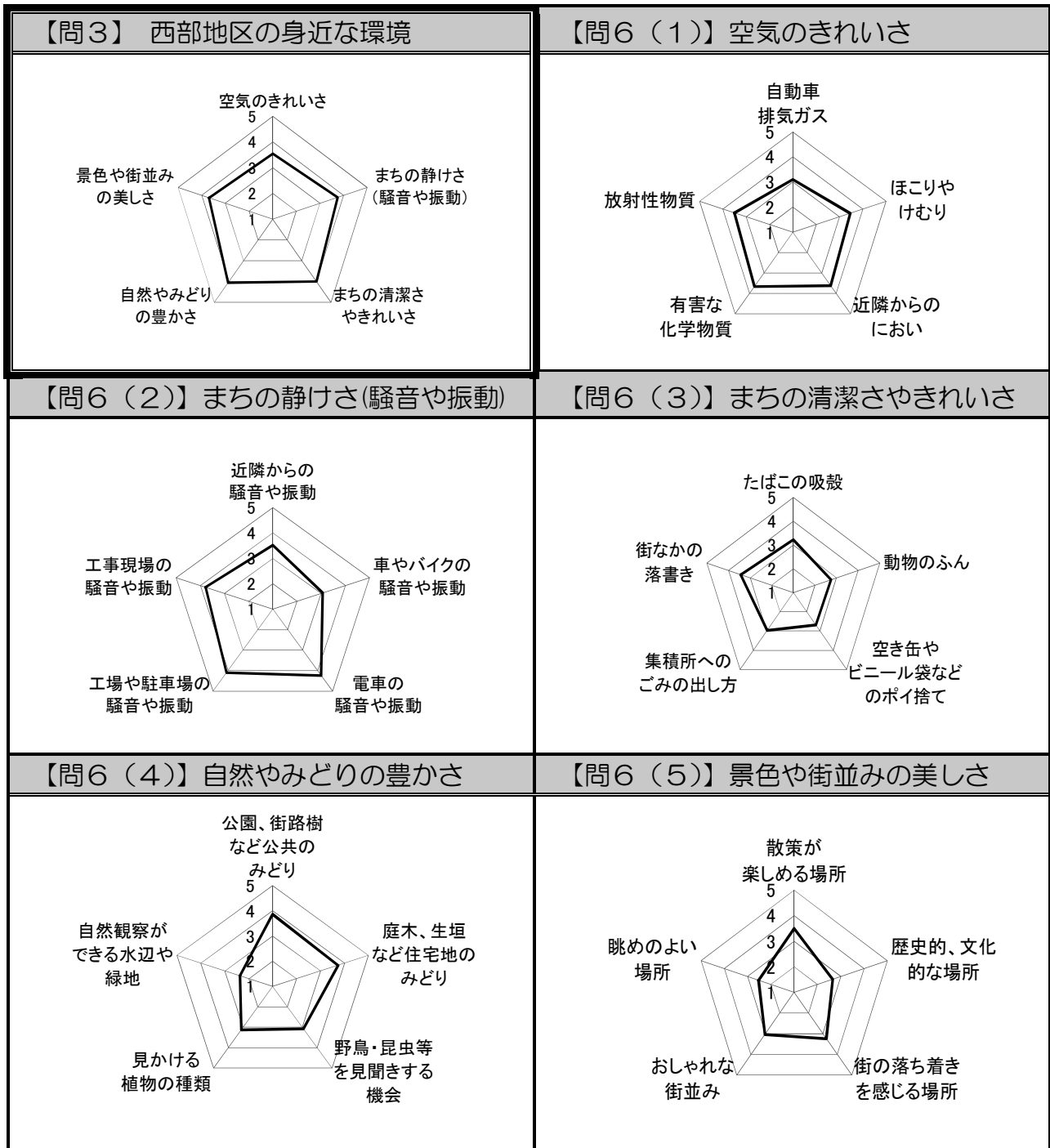
〈南部地区の身近な環境を5段階で表したグラフ〉



- 問3における身近な環境5項目の中では、「まちの清潔さやきれいさ」や「まちの静けさ」、「自然やみどりの豊かさ」の評価点が高くなっています。問6(4)の「自然やみどりの豊かさ」を項目別にみると、「公園、街路樹など公共のみどり」、「庭木、生垣など住宅地のみどり」の評価点が高くなっていますが、それ以外の項目では、評価点が3点以下となっています。
- 問6(5)の「景色や街並みの美しさ」を項目別に見ると、「散策が楽しめる場所」「街の落ち着きを感じる場所」の項目では評価点が高くなっています。

《 西部地区 》

＜西部地区の身近な環境を5段階で表したグラフ＞



- 問3における身近な環境5項目では、すべての項目において評価点3.5点以上でした。その中でも、「自然やみどりの豊かさ」の評価点が最も高くなっています。問6(4)の「自然やみどりの豊かさ」を項目別にみると、「公園、街路樹など公共のみどり」、「庭木、生垣など住宅地のみどり」の評価点が高くなっています。
- 問6(3)の「まちの清潔さやきれいさ」を項目別に見ると、「動物のふん」や「空き缶やビニール袋などのポイ捨て」の評価点が低くなっています。

■ 年齢別等から見た環境にやさしい行動

問7 あなたは「家庭でできる環境にやさしい行動」を、普段どの程度行っていますか。

(年齢別集計)

<「家庭でできる環境にやさしい行動Ⅰ」の取り組み状況>

家庭でできる環境にやさしい行動Ⅰ	18～29歳 (n=41)	30～39歳 (n=100)	40～49歳 (n=111)	50～59歳 (n=101)	60～69歳 (n=101)	70歳以上 (n=113)	問7単純 集計値 (n=567)
びん・缶・ペットボトル・古紙等を資源回収に出す	92.7	99.0	100.0	99.0	100.0	92.9	97.7
ごみの分別を徹底する	97.6	97.0	98.2	100.0	98.0	92.9	97.2
照明はこまめに消す	95.1	98.0	98.2	98.0	95.0	92.0	96.1
ものを大切に、長く使用する	95.1	96.0	96.4	97.0	95.0	93.8	95.6
再生品や詰め替え商品を買う	87.8	94.0	91.9	97.0	91.1	77.0	89.8
車を使わず、徒歩、自転車・公共交通機関を利用する	92.7	94.0	85.6	87.1	91.1	87.6	89.2
生きものや植物を大切にす	65.9	84.0	77.5	91.1	90.1	85.8	84.1
マイバッグを利用する	43.9	72.0	83.8	85.1	82.2	72.6	76.5
冷暖房の設定を夏は28℃、冬は20℃にする	82.9	67.0	73.0	75.2	83.2	71.7	74.6
コンセントから電源プラグを抜く	65.9	65.0	59.5	64.4	69.3	76.1	66.8
植木や鉢植えを設ける	43.9	33.0	61.3	66.3	83.2	85.0	64.6
洗剤の使用を控え、汚水を流さない	36.6	41.0	49.5	65.3	67.3	65.5	56.3
エコドライブを実践する	31.7	46.0	61.3	60.4	59.4	34.5	50.6
節水を心がける	31.7	46.0	48.6	43.6	53.5	46.9	46.6
「環境にやさしい行動」について、話し合う	12.2	24.0	28.8	41.6	50.5	44.2	36.0
地域の環境活動に参加する	7.3	12.0	14.4	15.8	26.7	27.4	18.5
雨水を貯めて再利用する	0.0	3.0	5.4	4.0	7.9	15.9	6.9

※ 表中の数値は、「いつもしている」・「時々している」と回答した人の割合(%)を示す。網掛けは、問7単純集計値よりも高い回答割合を示す。

- 世代別に取り組みの実施率を見ると、50代以上が問7単純集計値を上回る傾向があり、世代が高くなるほど、環境にやさしい行動に取り組んでいることがうかがえます。
- 「18歳～29歳」は、「ごみの分別を徹底する」、「車を使わず、徒歩、自転車・公共交通機関を利用する」、「冷暖房の設定を夏は28℃、冬は20℃にする」の3項目について、問7単純集計値よりも高くなっています。
- 「地域の環境活動に参加する」については、60代以上の実施率が25%を超えています。

(世帯別集計)

＜「家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ」の取組み状況＞

問7 Ⅱ	一人暮らし (n=95)	夫婦のみ (n=142)	二世世代家族 (n=269)	三世世代家族 (n=41)	その他 (n=21)	問7単純 集計値 (n=568)
LED電球や電球型蛍光灯を使用する	76.8	93.7	91.1	92.7	81.0	89.1
省エネタイプの家電製品を使用する	78.9	88.7	91.8	95.1	81.0	88.7
環境にやさしい自動車を購入する	16.8	35.2	42.4	43.9	23.8	35.7
屋上緑化や壁面緑化 (みどりのカーテン等)をする	22.1	27.5	26.0	39.0	28.6	26.8
排熱を利用した空調機・給湯器・ 電池等の機器を取付ける	10.5	19.7	17.5	22.0	14.3	17.1
太陽光発電システムや太陽熱利 用システムを取付ける	8.4	9.9	9.3	24.4	9.5	10.4

※ 表中の値は、「すでに購入・設置している」・「購入・設置を検討中」と回答した人の割合(%)を示す。網掛けは、問7単純集計値よりも高い回答割合を示す。

- 「一人暮らし」は、すべての項目について、問7単純集計値よりも回答した人の割合が低くなっています。
- 「三世世代家族」は、すべての項目について、問7単純集計値よりも回答した人の割合が高くなっています。

(住居別集計)

＜「家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ」の取組み状況＞

問7 Ⅱ	一戸建て (n=273)	マンション・アパート (n=236)	その他 (n=14)	問7単純 集計値 (n=523)
LED電球や電球型蛍光灯を使用する	91.2	86.4	85.7	88.9
省エネタイプの家電製品を使用する	89.0	87.3	85.7	88.1
環境にやさしい自動車を購入する	42.9	28.4	28.6	35.9
屋上緑化や壁面緑化 (みどりのカーテン等)をする	28.2	26.7	14.3	27.2
排熱を利用した空調機・給湯器・ 電池等の機器を取付ける	20.5	11.9	7.1	16.3
太陽光発電システムや太陽熱利 用システムを取付ける	14.3	5.9	0.0	10.1

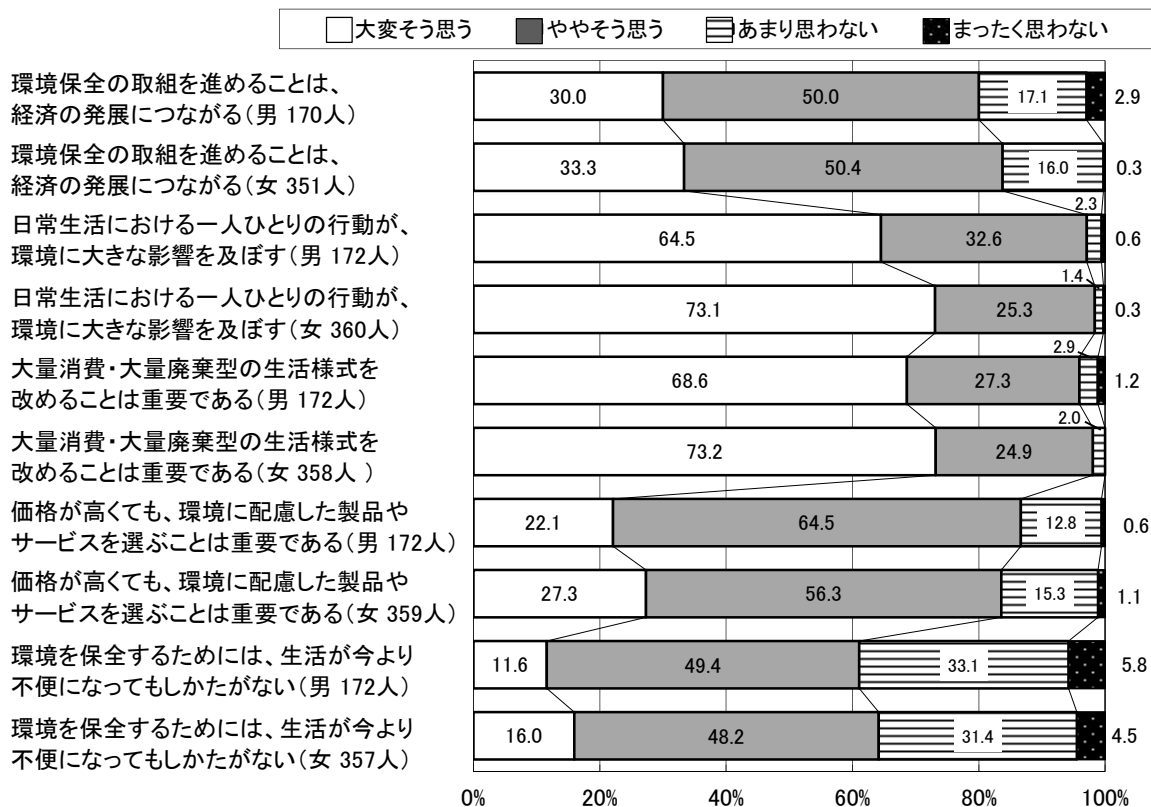
※ 表中の値は、「すでに購入・設置している」・「購入・設置を検討中」と回答した人の割合(%)を示す。網掛けは、問7単純集計値よりも高い回答割合を示す。

- 「一戸建て」は、すべての項目について「マンション・アパート」よりも回答した人の割合が高くなっており、ハード面の対策に取り組んでいる状況がうかがえます。

■ 性別・年齢から見た環境と経済に関する意見

問10 環境と経済に関する各意見について、あなたの考えに近いものはどれですか。

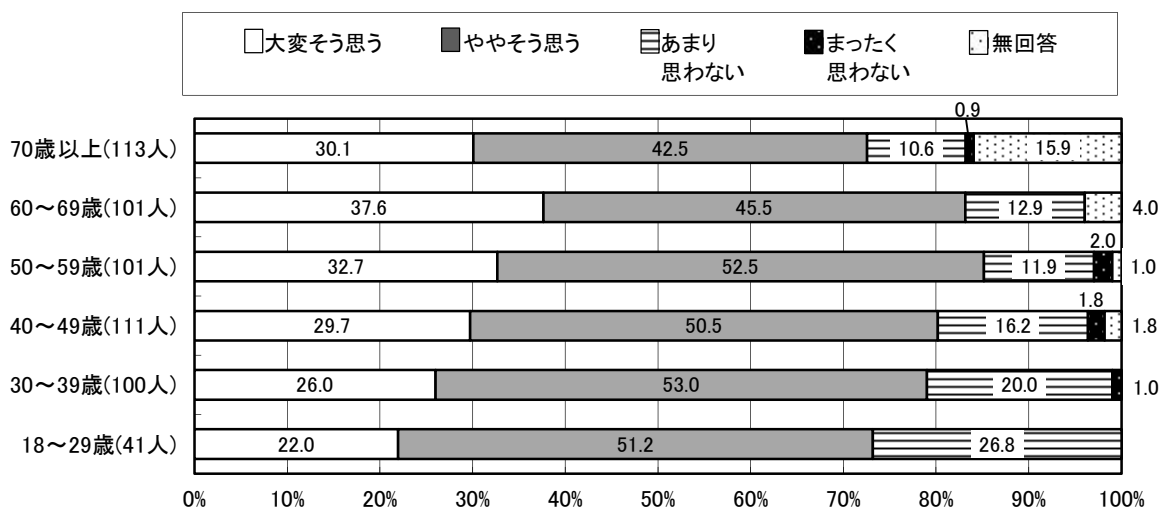
(性別集計)



○ 全ての項目において、男性より女性の方が「大変そう思う」の割合が高くなっています。

(年齢別集計)

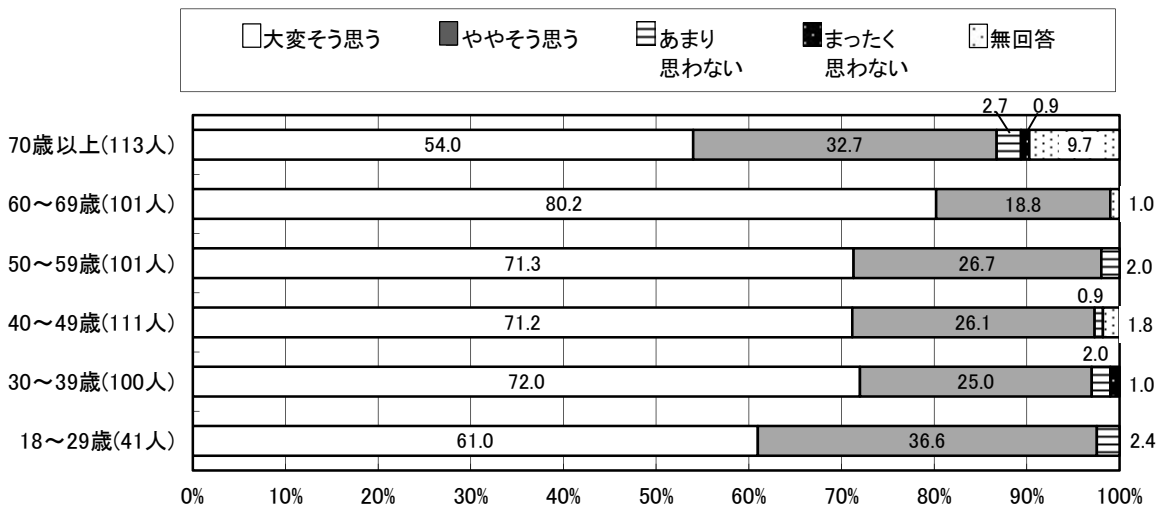
〈環境保全の取組を進めることは、経済の発展につながる〉



○ 「60～69歳」は、「大変そう思う」割合が最も高くなっています。

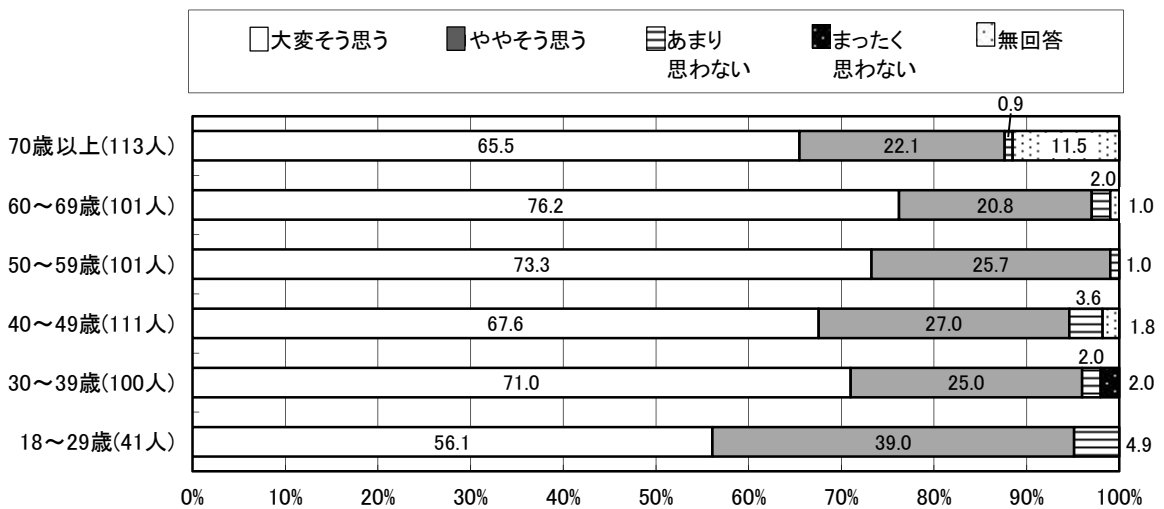
○ 「大変そう思う」「ややそう思う」を合わせると「50～59歳」が最も高くなります。

〈日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼす〉



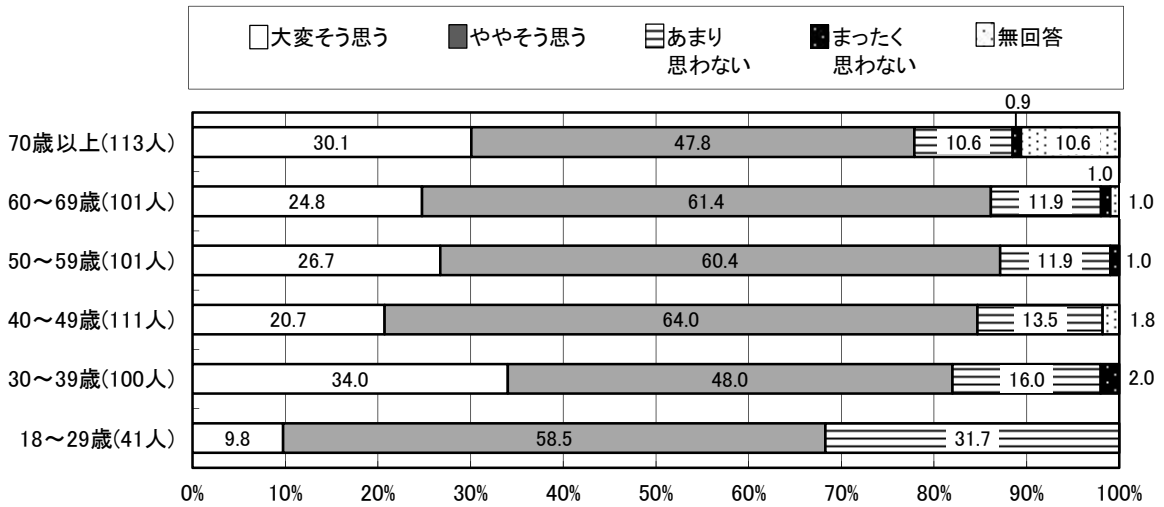
○ 「60～69歳」が「日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼす」と考える割合が最も高くなっています。

〈大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めることは重要である〉



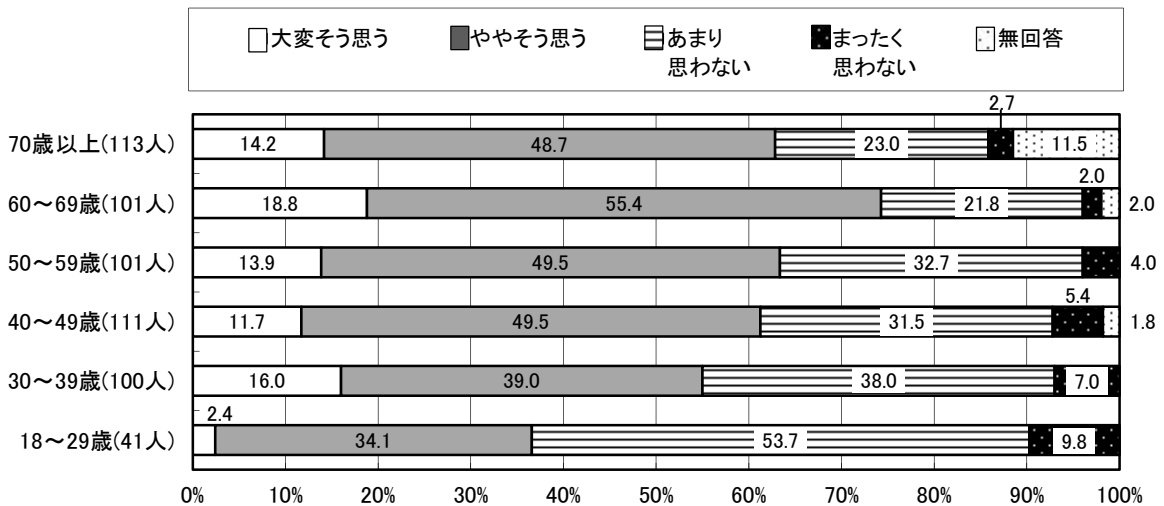
○ 「50～59歳」が「大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めることは重要である」と考える割合が最も高くなっています。

〈価格が高くて、環境に配慮した製品やサービスを選ぶことは重要である〉



○ 全体として、「大変そう思う」人の割合は少ないが、「ややそう思う」を合わせると7割以上が賛同しています。

〈環境を保全するためには、生活が今より不便になってもしかたがない〉

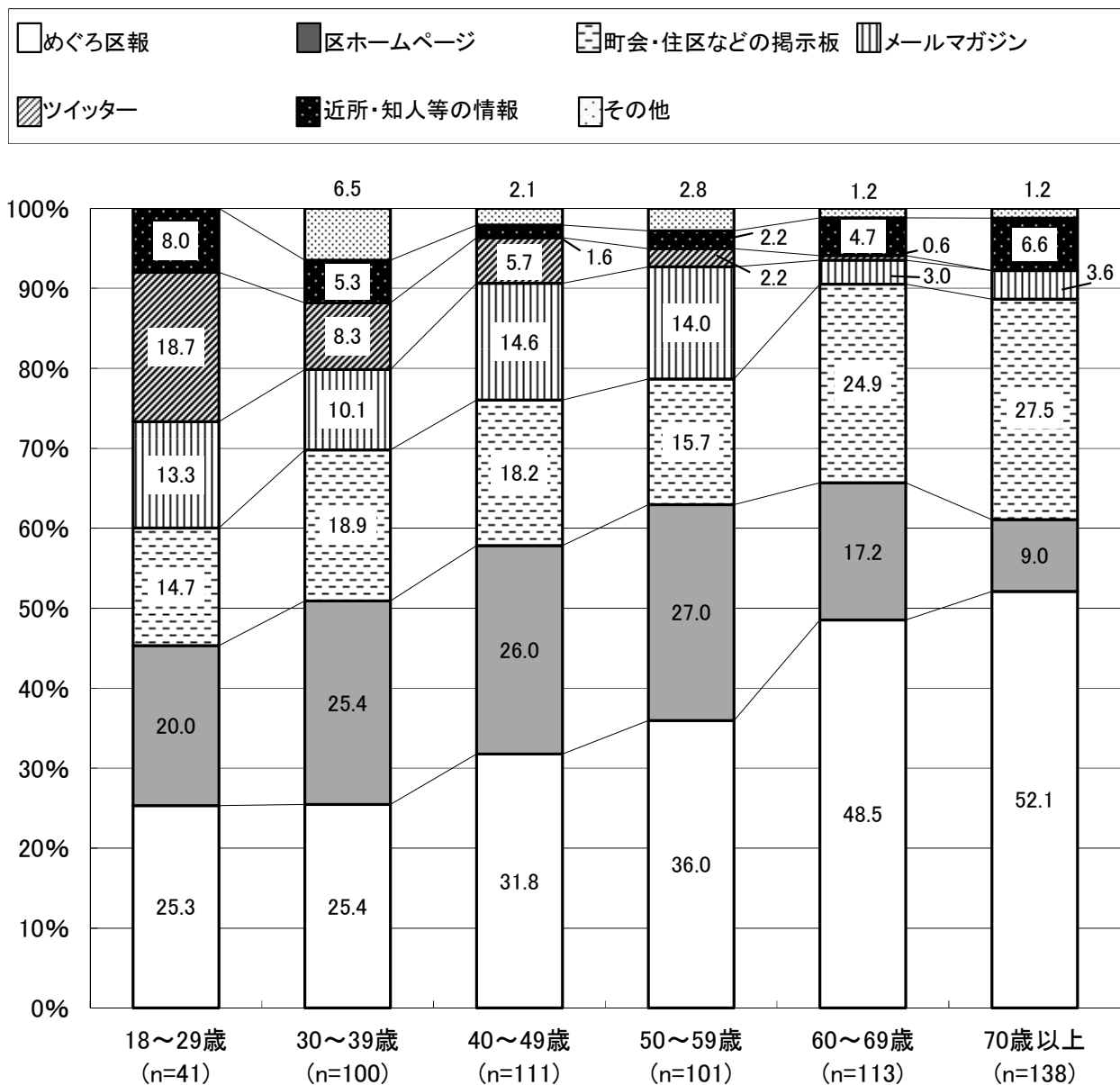


○ 「60～69歳」で「大変そう思う」人がやや多い。「18～29歳」は「大変そう思う」「ややそう思う」を合わせても5割に達していません。

■ 年齢別から見た環境情報の接触媒体

問14 区からの環境情報を得るために、どのような媒体が利用しやすいですか。【複数回答】

(年齢別集計)



- 「めぐろ区報」は、年齢層が上がるほど利用意向が高くなっています。
- 全ての年代において、「めぐろ区報」の利用意向が高い結果となっており、次いで利用意向が高い媒体として、18～59歳では「区ホームページ」、60歳以上では「町会・住区などの掲示板」となっています。

■ 自由記述

<回答者数：261人、延べ回答件数：395件>

環境基本計画の 基本方針	件数	意見の分類	件数
きれいな空気と 水辺のある まちで暮らす	45	大気環境の保全について	6
		水環境の保全について	16
		有害物質による汚染の防止について	0
		身近な生活環境の保全について	23
みどりあふれる まちで暮らす	67	街中のみどりの保全について	45
		身近な場所にみどりを育てるについて	16
		都市の生物の多様性確保について	6
安らぎのある まちをつくる	109	住み心地のよいまちづくりについて	80
		街並み景観の向上・歴史的文化的資源の活用について	29
ものを大切にする 地域社会をめざす	52	ごみの発生抑制について	11
		円滑な資源循環について	15
		ごみの適正処理の推進について	26
地球にやさしい 地域社会をつくる	3	低炭素ライフスタイルの普及について	0
		事業活動の低炭素化について	2
		ヒートアイランド現象の緩和について	1
人を育てて 行動を促す	44	環境教育・学習の推進について	1
		環境情報の提供について	26
		人材や活動団体の育成について	9
		事業者の取組みの促進について	8
人のつながりを 育てる	14	地域の環境保全活動の活性化・ネットワーク化について	13
		区民・事業者・区のパートナーシップの構築について	1
		地域を越えた広域的な連携について	0
その他	61	環境に関するその他の事項について	6
		環境以外の区の施策について	18
		その他	37

問6. 身近な環境について、日頃どのように感じていますか。(それぞれ0を1つ)

(1) 空気のきれいさについて

項目	気にならない	あまり 気にならない	どちらとも いけない	やや 気になる	気になる
自動車排気ガス	1	2	3	4	5
ほこりやけむり	1	2	3	4	5
近隣からのにおい	1	2	3	4	5
有害な化学物質	1	2	3	4	5
放射性物質	1	2	3	4	5

(2) まちの静けさ(騒音や振動)について

項目	気にならない	あまり 気にならない	どちらとも いけない	やや 気になる	気になる
近隣からの騒音や振動	1	2	3	4	5
車やバイクの騒音や振動	1	2	3	4	5
電車の騒音や振動	1	2	3	4	5
工場や駐車場の騒音や振動	1	2	3	4	5
工事現場の騒音や振動	1	2	3	4	5

(3) まちの清潔さやきれいさについて

項目	気にならない	あまり 気にならない	どちらとも いけない	やや 気になる	気になる
たばこの吸殻	1	2	3	4	5
動物のふん	1	2	3	4	5
空き缶やビニール袋などのポイ捨て	1	2	3	4	5
集積所へのごみの出し方	1	2	3	4	5
街なかの落書き	1	2	3	4	5

(4) 自然やみどりの豊かさについて

項目	多い	やや多い	どちらとも いけない	やや少ない	少ない
公園、街路樹など公共のみどり	1	2	3	4	5
庭木、生垣など住宅地のみどり	1	2	3	4	5
野鳥・昆虫等の姿や鳴き声を見聞きする機会	1	2	3	4	5
見かける植物の種類	1	2	3	4	5
自然観察ができる水辺や緑地	1	2	3	4	5

(5) 景色や街並みの美しさについて

項目	多い	やや多い	どちらとも いけない	やや少ない	少ない
散策が楽しめる場所	1	2	3	4	5
歴史的、文化的な場所	1	2	3	4	5
街の落ち着きを感じる場所	1	2	3	4	5
おしゃれな街並み	1	2	3	4	5
眺めのよい場所	1	2	3	4	5

2. 環境にやさしい行動の取組み状況についてお聞きします。

問7. あなたは「家庭でできる環境にやさしい行動」を、普段どの程度行っていますか。
(それぞれ0を1つ)

家庭でできる環境にやさしい行動Ⅰ		いつも している	時々 している	していない (今後も しない)	していない (本当は したい)
1	マイバッグを利用する	1	2	3	4
2	再生品や詰め替え商品を購入する	1	2	3	4
3	ものを大切にし、できるだけ長く使用する	1	2	3	4
4	ごみの分別を徹底する	1	2	3	4
5	びん・缶・ペットボトル・古紙等を資源回収に出す	1	2	3	4
6	洗剤の使用を控え、汚水を流さないようにする	1	2	3	4
7	洗濯に風呂の残り湯を使用するなど節水を心がける	1	2	3	4
8	雨水を貯めて再利用する	1	2	3	4
9	使用していない場所の照明はこまめに消す	1	2	3	4
10	使用していない時は、コンセントから電源プラグを抜く	1	2	3	4
11	冷暖房の設定を夏は室温28℃、冬は室温20℃をめやすにする	1	2	3	4
12	エコドライブを実践する	1	2	3	4
13	車を使わず、徒歩、自転車、公共交通機関を利用する	1	2	3	4
14	庭やベランダ等に植木や鉢植えを設ける	1	2	3	4
15	身近に生息している生きものや植物を大切にす	1	2	3	4
16	地域の環境活動(町会・サークル等)に参加する	1	2	3	4
17	「家庭でできる環境にやさしい行動」について、話し合う	1	2	3	4

家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ		すでに 購入・設置 している	購入・設置 を検討中	購入・設置 をしない	購入・設置 できない
18	LED電球や電球型蛍光灯を使用する	1	2	3	4
19	省エネタイプの家電製品を使用する	1	2	3	4
20	環境にやさしい自動車(低燃費車・ハイブリッド車・電気自動車)を購入する	1	2	3	4
21	屋上緑化や壁面緑化(みどりのカーテン等)をする	1	2	3	4
22	太陽光発電システムや太陽熱利用システムを取付ける	1	2	3	4
23	排熱を利用した空調機・給湯器・電池等の機器(ガス、電気)を取付ける	1	2	3	4

問8. あなたにとって、「家庭でできる環境にやさしい行動」に対して取り組むことが難しい理由
はなんですか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 時間や手間がかかる | 2. 情報不足・やり方がわからない |
| 3. 費用がかかる | 4. 効果がよくわからない |
| 5. 必要性を感じない | 6. その他() |

問9. (ア) あなたの世帯の電気・ガス・水道・ガソリン(車)の昨年1年間の使用量は、その前の1年間と比べて、どのように変化していますか。(それぞれ0を1つ)

	減っている	変わらない	増えている	わからない
電 気	1	2	3	4
ガ ス	1	2	3	4
水 道	1	2	3	4
ガソリン(車) ※車をお持ちの方のみ	1	2	3	4

(イ) 変化した理由や使用量削減のための工夫などを記入してください。

問10. 環境と経済に関する各意見について、あなたの考えに近いものはどれですか。(それぞれ0を1つ)

意 見	そ う 大 変 思 う	そ う や や 思 う	思 わ な い あ ま り	思 わ な い ま っ た く
1. 環境保全の取組を進めることは、経済の発展につながる	1	2	3	4
2. 日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼす	1	2	3	4
3. 大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めることは重要である	1	2	3	4
4. 価格が高くて、環境に配慮した製品やサービスを選ぶことは重要である	1	2	3	4
5. 環境を保全するためには、生活が今より不便になってもしかたがない	1	2	3	4

3. 目黒区で行っている環境保全活動についてお聞きします。

問11 (ア) 区では、枠内に示すような環境保全に関する取組み・支援を行っています。これらの取組みに参加したことがありますか。

{ 参加したことがある方：参加した取組み(1~8)に0(いくつでも0) → 問12へ
 { 参加したことがない方：9に0 → 問11(イ)へ

1. めぐるグリーンアクションプログラム	2. 太陽光発電システム等設置費助成の利用
3. 環境推進員(環境ナビゲーター)養成講座	4. 環境学習会・環境講演会
5. いきもの発見隊	6. グリーンクラブ活動
7. 目黒川クリーンアップ大作戦	8. その他()
9. どれにも参加したことがない	

(イ) どれにも参加したことがない方のみにお聞きします。(問11(ア)で9と回答された方)参加できない理由は何ですか。(いくつでも0)

1. 興味・関心が持てる活動や団体がないから	2. 参加する時間がないから
3. 交通費や年会費などの費用がかかるから	4. 1人では参加しにくいから
5. どのくらい環境保全に役立つかわからないから	6. その他()

問1 2. 今後、環境活動に参加するとすれば、どのような活動に興味がありますか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 家庭における二酸化炭素削減プログラム | 2. 新エネルギー・省エネルギー機器の設置 |
| 3. 環境に関する学習会や講演会 | 4. 野鳥や草花などの自然観察会や調査 |
| 5. 緑地や学校などでの生きものの生息環境づくり | 6. 住まい周辺の緑化活動 |
| 7. ごみの減量やリサイクル活動 | 8. 道路や公園等の清掃・ごみ拾い |
| 9. その他 (|) |

問1 3. 区から発信される環境情報のうち、どのような情報の充実を望みますか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 大気・水質・騒音、放射線測定等の観測情報 | 2. 環境学習会や講演会に関する情報 |
| 3. 動植物のみられる時季や場所に関する情報 | 4. ごみの分別や不用品に関する情報 |
| 5. まちの美化や清掃活動に関する情報 | 6. 省エネルギーに関するアイデア情報 |
| 7. 環境に関する活動・取組を支援する補助金情報 | |
| 8. その他 (|) |

問1 4. 区からの環境情報を得るために、どのような媒体が利用しやすいですか。(いくつでも○)

- | | | |
|------------|----------------|--------------|
| 1. 区ホームページ | 2. メールマガジン | 3. ツイッター |
| 4. めぐる区報 | 5. 町会・住区などの掲示版 | 6. 近所・知人等の情報 |
| 7. その他 (| |) |

問1 5. 目黒区の施策に関する満足度をお聞きします。(それぞれ○を1つ)

項目	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
1. 環境に関する情報提供	1	2	3	4	5
2. 環境教育・学習の場や機会の提供	1	2	3	4	5
3. 温暖化対策・省エネルギーに関する施策	1	2	3	4	5
4. ごみの減量・リサイクルに関する施策	1	2	3	4	5

問1 6. リサイクルに関するルールや制度についてお聞きします。(それぞれ○を1つ)

項目	よく内容を 知っている	多少の内容は 知っている	名前くらいしか 知らない	名前も知らない
1. めぐる買い物ルール	1	2	3	4
2. 小型家電回収	1	2	3	4

～ ルールや制度についてのご説明 ～

めぐる買い物ルール

ごみをつくり出さない工夫や啓発を積極的に行うことを実現するため、平成18年3月に策定しました。

小型家電回収

限りある資源を有効に活用するため、携帯電話など小型家電(9品目)の回収を平成26年4月から開始しました。

4. 最後にあなたご自身のことについてお聞きします。(それぞれ0を1つ)

	回答欄		
性別	1. 男性	2. 女性	
年齢(満年齢)	1. 18~29歳	2. 30~39歳	3. 40~49歳
	4. 50~59歳	5. 60~69歳	6. 70歳以上
職業	1. 会社員などの勤め人	2. 自営業	3. 自由業
	4. 家事専業	5. パート・アルバイト	6. 学生
	7. 無職	8. その他	
世帯の構成	1. 一人暮らし	2. 夫婦のみ	3. 二世世代家族(親と子)
	4. 三世世代家族(親と子と孫)		5. その他
居住地区	1. 北部地区(駒場住区、菅刈住区、東山住区、烏森住区)		
	2. 東部地区(中目黒住区、田道住区、下目黒住区、不動住区)		
	3. 中央地区(上目黒住区、油面住区、五本木住区、鷹番住区)		
	4. 南部地区(月光原住区、向原住区、碑住区、原町住区、大岡山東住区)		
	5. 西部地区(大岡山西住区、中根住区、自由が丘住区、八雲住区、東根住区)		
目黒区居住年数	1. 1年未満	2. 1~5年	3. 6~10年
	4. 11~20年	5. 21~30年	6. 31年以上
住宅の種類	1. 一戸建て	2. マンション・アパート	3. その他

5. 身近な環境に対して日頃感じていることや目黒区の環境行政について、ご意見やご提案がございましたらご記入ください。

アンケート調査は、これで終わりです。ご協力ありがとうございました。
 記入もれがないかももう一度お確かめの上、6月29日(月)までに同封の
 返信用封筒(切手不要)に入れ、お近くの郵便ポストへ入れてください。

環境行政をめぐる動き

環境をとりまく状況は、めまぐるしく変化しています。世界や国、東京都の動向にあわせ、区では次頁の表に示すような取組みを進めてきました。特に近年では、以下のような環境問題の重要性が高まっています。

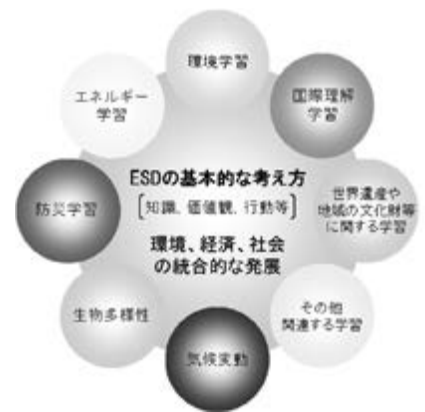
① 持続可能な開発のための教育（ESD^{*}）に関するユネスコ世界会議の開催

2002年（平成14年）に南アフリカ共和国で、ヨハネスブルグサミットが開催されました。このサミットでは、日本政府やNGOが「国連ESDの10年」プロジェクトを提唱し、国連教育科学文化機関（ユネスコ）を中心に世界中でESD活動が展開されました。

この最終年である2014（平成26）年11月に、ユネスコと日本政府の共催により、愛知県名古屋市及び岡山市で「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」が開催されました。10年間の活動成果を振り返るとともに、ESDに関するグローバル・アクション・プログラム（GAP）の議論や、更なる行動促進に向けた「あいち・なごや宣言」の採択がなされたほか、2015（平成25）年度以降のESD活動について話し合われました。

^{*}ESD（Education for Sustainable Development）とは、「一人ひとりが世界の人々や将来世代、また、環境との関係性の中で生きていることを認識し、持続可能な社会の実現に向けて行動を変革するための教育のこと」を言います。

具体的には、単なる知識の習得や活動の実践にとどまらず、日々の取組の中に、持続可能な社会の構築に向けた概念を取り入れ、問題解決に必要な能力・態度を身に付けるための工夫を継続していくことが求められています。



＜ESDの概念図＞
文部科学省HPより引用

② 生物多様性に関する国際的な動向

生物多様性を保全するには、社会全体がその価値を理解し、守らなくてはなりません。生物多様性に関する国際社会の動きとして、2014年（平成26）年10月に韓国のピョンチャンで、生物多様性条約第12回締約国会議（COP12）が開催されました。今回のテーマは「持続可能な開発のための生物多様性」で、戦略計画や愛知目標の中間評価、海洋・沿岸の生物多様性等について議論されました。



＜国連生物多様性の10年
日本委員会ロゴマーク＞
国連生物多様性の10年
日本委員会HPより引用

③ 水素社会の実現に向けた都の動き

水素エネルギーは、低炭素社会の切り札として近年注目が高まっています。東京都では2014（平成26）年に水素社会の実現に向け、環境局を中心に産学官が一体となる「水素社会の実現に向けた東京戦略会議」を設置しました。会議では、水素ステーションの整備や燃料電池車・バスの普及、家庭用及び業務用燃料電池等の普及、安定的な燃料供給体制のほか、水素の特性や安全対策についてなど、「正しい水素エネルギーの理解向上に向けた課題と取組」をメインとした社会的受容性の向上が議論されました。



＜“水素エネルギー”について
東京都環境局 パンフレット＞

＜環境行政をめぐる区の動きおよび世界・日本・東京都の動き＞

年度	区の動き	★：世界の動き ●：国の動き ○：東京都の動き
平成 13 年度 (2001 年度)	ISO14001 認証取得	●「自動車 NOx・PM 法」制定 ○「東京都環境基本計画」改定
平成 14 年度 (2002 年度)	「目黒区環境基本計画」策定 ----- 「目黒区ポイ捨てなどのないまちをみんなでつくる条例 (略称：「ポイ捨て防止条例）」制定	★持続可能な開発に関する世界首脳会議（リオ+10） ●「土壌汚染対策法」制定 ●「新エネルギー発電法」制定 ★「京都議定書」批准 ●「循環型社会形成推進基本計画」閣議決定 ●「地球温暖化対策推進大綱」策定 ○「東京都環境影響評価条例」改正 ○「ヒートアイランド対策取組方針」策定 ○「都市と地球の温暖化阻止に関する基本方針」策定
平成 15 年度 (2003 年度)	—	●「ヒートアイランド対策大綱」策定
平成 16 年度 (2004 年度)	ISO14001 サイト拡大・環境方針の改定	●「外来生物法」制定 ●「環境保全活動・環境教育推進法に関する基本方針」閣議決定 ★「京都議定書」発効
平成 17 年度 (2005 年度)	「新エコ・アクションプログラムめぐろⅡ」策定 (環境保全率先実行計画・地球温暖化対策推進地方 公共団体実行計画) ----- 「目黒区環境学習推進計画」策定 ----- 「住宅マスタープラン」改定 ----- 「目黒区放置自転車対策基本計画」策定	○「東京都環境確保条例」改定 (エネルギー環境計画書、省エネラベリング制度の 創設) ○「みどりの新戦略ガイドプラン」策定
平成 18 年度 (2006 年度)	「目黒区みどりの基本計画」改定 ----- 「目黒区一般廃棄物処理基本計画」改定 ----- 「目黒区地域街づくり条例」制定	●「容器包装リサイクル法」改正 ●「新バリアフリー法」制定 ○「持続可能な東京の実現をめざす新戦略プログラ ム」策定 ○「東京都再生可能エネルギー戦略」策定
平成 19 年度 (2007 年度)	ISO14001 サイト拡大 ----- 「目黒区環境基本計画」改定 ----- 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」策定 ----- 住環境プロジェクト*	●「外来生物法」改正 ●「種の保存法」改正 ●「自動車 NOx・PM 法」改正 ○「東京都気候変動対策方針」策定 ○「緑の東京 10 年プロジェクト 基本方針」策定 ○「東京都環境基本計画」策定
平成 20 年度 (2008 年度)	「敷地面積の最低限度」の都市計画変更の決定* ISO14001 認証返上	●「生物多様性基本法」制定 ●「エネルギーの使用の合理化に関する法律」改正 ●「地球温暖化対策推進法」改正 ●「低炭素社会づくり行動計画」策定
平成 21 年度 (2009 年度)	「目黒区景観計画」策定 ----- 目黒区地球温暖化対策推進実行計画（めぐろエ コ・プラン）策定	○「東京都地球温暖化対策指針」改正 ○「東京都エネルギー有効利用指針」制定
平成 22 年度 (2010 年度)	「目黒区総合治水対策基本計画」改定 ----- 「目黒区環境学習推進計画」改定	★生物多様性条約第 10 回締結国会議（COP10）開催 (「名古屋-クアラルンプール補足議定書」、「愛知タ ーゲット」、「名古屋議定書」策定) ○「首都圏キャップ&トレード制度」協定締結 ○「中小事業者のための土壌汚染対策ガイドライン」策定
平成 23 年度 (2011 年度)	「目黒区環境基本計画」改定	★京都議定書第 17 回締約国会議（COP17）開催
平成 24 年度 (2012 年度)	—	★京都議定書第 18 回締約国会議（COP18）開催
平成 25 年度 (2013 年度)	目黒区地球温暖化対策推進第二次実行計画（めぐ ろエコ・プランⅡ）改定 ----- 目黒区地球温暖化対策地域推進計画（第二次計画） 改定 ----- 「目黒区環境学習実行プラン」改定 ----- 「きさえあう生命の輪（いのちのわ） 野鳥のすめるまちづくり計画」策定	★IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)が「5 次評価報告書」の第 1 作業部会報告書を発表 ●「放射性物質の常時監視に関する検討会の報告書」 公表 ●「Jクレジット」制度の発足
平成 26 年度 (2014 年度)	—	★持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユ ネスコ世界会議開催 ○「東京都長期ビジョン」策定

※めぐろ住環境プロジェクト…2008（平成 20）年度より実施された、住みやすい環境を整備するための一連の取組み。
目黒区大規模建築物等の建築に係る住環境の整備に関する条例、目黒区開発許可の基準に関する条例、目黒区斜面地建築物
の制限に関する条例の制定、目黒区中高層建築物等の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例、目黒区みどりの条例、目
黒区自転車等放置防止条例の改正等が行われました。

環境保全の施策に要した主な経費

基本目標1 良好な生活環境を守りはぐくむ

(単位:千円)

事業名	事業の内容	経費
環境調査	大気汚染常時監視、幹線道路の自動車公害調査、目黒川水質調査、光化学スモッグ対策、幹線道路沿いにおける窒素酸化物調査、地下水調査、一般大気中アスベスト調査	17,351
総合治水対策の推進	透水性舗装 68m ² 、雨水浸透柵 3か所	2,728
放射線対策	空間放射線量測定、プール放射性物質測定、NaI(Tl)シンチレーションサーベイメーター校正費、放射能汚染物収納バッグ購入費、雨水槽放射性物質測定	173
公園・緑道等の整備	公園(改良)2か所、児童遊園(改良)1か所	139,478
みどりのまちなみ助成	接道部緑化 21件、屋上緑化 13件	6,026
目黒区生物多様性地域戦略の策定と運用	江戸のみどり復活事業、野鳥のすめるまちづくり展の開催、東京大学駒場博物館と「日本の蝶」展を共催	1,302
グリーンクラブ事業	花苗配布等の支援 92団体	5,401
ポイ捨て、落書き対策	ポイ捨て禁止キャンペーン、落書き消去活動支援	532
路上喫煙対策	路上喫煙禁止区域のパトロール、路上シート作成設置、指定喫煙所維持管理	16,804
違反屋外広告物の指導・取締	除却枚数 104,296枚(はり紙 103,825枚、はり札 13枚、立看板 458枚)	4,346

基本目標2 ライフスタイルの転換で環境を守りはぐくむ

(単位:千円)

事業名	事業の内容	経費
ごみ減量化のための普及啓発	3R推進キャンペーン、広報誌・パンフレットの発行、めぐろ買い物ルール、環境学習等	3,061
ペットボトル等拠点回収事業(小型家電含む)	回収量(ペットボトル 67t、乾電池 16t、紙パック 6t、小型家電 84t)	26,586
分別回収の推進事業	回収量(びん 2,988t、缶 838t、ペットボトル 951t、資源プラスチック 1,699t)、普及PR	971,640
古紙回収(行政回収分)	古紙回収量 290t	47,698
資源回収活動支援	資源回収活動実施団体支援 287団体 資源回収量(古紙等) 13,717t	54,867
地球温暖化対策事業	普及・啓発事業(住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置費助成、地域協議会運営、エコドライブ講習会等)	9,710

基本目標3 環境を守りはぐくむ人づくり

(単位:千円)

事業名	事業の内容	経費
環境推進員養成講座	環境ナビゲーター(環境推進員)養成講座、ステップアップ講座の実施	589
エコプラザ運営管理	リサイクルショップ、シルバーアトリエ、図書貸出等	36,008

より詳しい情報をお知りになりたい方のために...

• 環境調査報告書

基本目標1の基本方針1-1で報告した大気・水質等に関する環境調査結果を詳細に掲載した報告書です。2015（平成27）年度版は、11月頃の発行を予定しています。

WEB

トップページ>行政情報>統計・調査・報告>調査・報告>環境調査報告書

• 環境保全施策実施状況一覧表

目黒区の環境保全施策実施状況をまとめたものです。

WEB

トップページ>行政情報>統計・調査・報告>調査・報告>目黒区環境報告書（めぐろの環境）

ご意見・ご感想をお聞かせください

2015（平成27）年度版めぐろの環境（環境報告書）をお読みいただきありがとうございました。今後の環境報告書づくりの参考にしていきたいと思いますので、ご覧になってのご意見・ご感想などをお聞かせください。

〔宛て先〕目黒区 環境清掃部 環境保全課 環境計画係

電話：03-5722-9356

FAX：03-5722-9401

Email：kankyo01@city.meguro.tokyo.jp

2015（平成27）年度版

めぐろの環境（環境報告書）

主要印刷物番号

27-15号

発行日 2015（平成27）年9月発行

発行者 目黒区

編集部署 目黒区環境清掃部環境保全課

東京都目黒区上目黒2丁目19番15号

電話 03-5722-9356（直通）

編集協力 アオイ環境株式会社